

米に関するマンスリーレポート (令和5年1月号)



1月22日はカレーの日

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

目次（令和5年1月号）

特集

- 1 令和5年度予算概算決定の概要について(水田活用関係)
- 2 水田農業の未来を考える動画コンテンツの配信について

特集-1

特集-4

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)全国段階の民間在庫の推移(うるち米) (速報)
- (2)産地別民間在庫の状況
- (3)令和3・4年産の産地別民間在庫の推移(うるち米) (速報)

在庫-1

Excel

在庫-4

Excel

在庫-5

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和4年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)年産別の相対取引価格
 - (2)相対取引契約数量の推移
 - (3)相対取引価格・数量(令和4年産米、産地品種銘柄別、令和4年11月分) (速報)
相対取引価格・数量(令和4年産米、産地品種銘柄別、令和4年12月分) (速報)
 - (4)相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和3・4年産米、産地品種銘柄別) (速報)
- 2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和4年12月分)

価格-1

価格-2

価格-3

Excel

価格-5

Excel

価格-7

Excel

価格-9

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約の取組状況

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1)近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和4年産)
- (2)令和3・4年産米の産地別事前契約の取組状況(令和4年11月末現在) (速報)

契約-1

契約-2

Excel

2 令和4年産米の産地別契約・販売状況

契約-3

Excel

(累計、うるち米、令和4年11月末現在) (速報)

4 消費の動向

- | | |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査)
米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | 消費-1 |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)
総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | 消費-4 |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向 | 消費-8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費-9 |

5 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績 | |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出入-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-2 |
| (3) コメの輸出数量の2021年の主な増加要因 | 輸出入-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-6 |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-7 |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-8 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出入-9 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)
農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | 輸出入-10 |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-11 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-12 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和4年度) | 輸出入-13 |

6 主食用米以外の情報

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 主食外-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 主食外-1 |
| (3) 令和4年産 都道府県別の生産状況 | 主食外-2 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 主食外-3 |
| (2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 主食外-5 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 主食外-6 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 主食外-6 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 主食外-7 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 主食外-7 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

令和5年度予算概算決定の概要について（水田活用関係）

（1）水田活用の直接支払交付金等

【令和5年度予算概算決定額 305,000（305,000）百万円】

<対策のポイント>

食料自給率・自給力の向上に資する**麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化**とともに、地域の特色をいかした**魅力的な産地づくり、産地と実需者との連携に基づいた低コスト生産の取組、畑地化による高収益作物等の定着等**を支援します。

<政策目標>

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha、飼料用米9.7万ha〔令和12年度まで〕）
- 実需者との結びつきのもとで、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米：70万t、米粉用米：13万t〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

2. 産地交付金

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした**魅力的な産地づくりに向けた取組**を支援します。

3. 都道府県連携型助成

都道府県が**転換作物を生産する農業者を独自に支援**する場合に、農業者ごとの前年度からの転換拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：0.5万円/10a）で**国が追加的に支援**します。

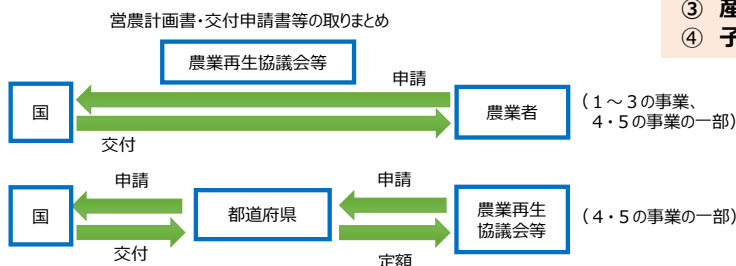
4. コメ新市場開拓等促進事業 11,000百万円

産地と実需者との**連携の下、新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組**を行う農業者を支援します。※8

5. 畑地化促進助成 2,215百万円

水田を畑地化し、**高収益作物やその他の畑作物の定着等を図る取組等**を支援します。

<事業の流れ>

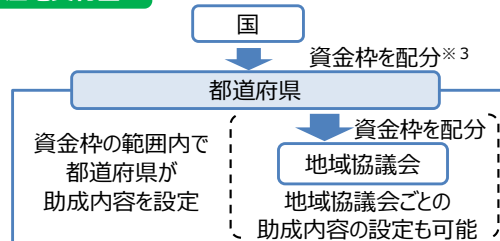


<事業イメージ>

戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※1
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※2

産地交付金



- 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け（基幹作のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約	1万円/10a

畑地化促進助成（令和4年度補正予算と併せて実施）

- 畑地化支援（高収益作物 : 17.5万円/10a※4
畑作物（高収益作物以外）※5 : 14.0万円/10a※6）
- 定着促進支援
ア 高収益作物（2万円（3万円※7）/10a×5年間）（①とセット）
イ 畑作物（高収益作物以外）※5（2万円/10a※6×5年間）
- 産地づくり体制構築等支援
- 子実用とうもろこし支援（1万円/10a）

<交付対象水田>

- ・ たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外
- ・ 現場の課題を検証しつつ、5年間で一度も水張り（水稲作付）が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない

- ※1：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a
- ※2：飼料用米の一般品種について、令和5年度については従来と同様。令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a（5.5～7.5万円/10a）とする。
- ※3：作付転換の実績や計画等に基づき配分
- ※4：令和5年度までの時限単価
- ※5：対象作物は、麦、大豆、飼料作物（牧草等）、子実用とうもろこし、そば等
- ※6：令和4年度補正予算における単価
- ※7：加工・業務用野菜等の場合
- ※8 予算の範囲内で、助成対象となる地域農業再生協議会を決定

(2) コメ新市場開拓等促進事業

【令和5年度予算概算決定額 11,000（-）百万円】

<対策のポイント>

需要拡大が期待される作物を生産する農業へと転換するため、**実需者との結び付きの下で、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）の低コスト生産等**に取り組む生産者を支援します。

<事業目標>

- 実需者との結びつきの下で、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 米粉用米の生産を拡大（米粉用米13万ha〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援 11,000百万円

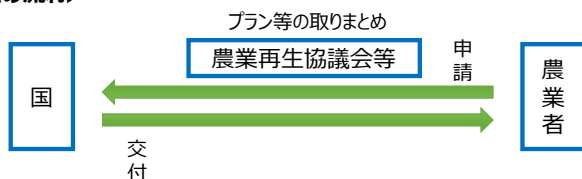
産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための**低コスト生産等の技術導入**を行う場合に、取組面積に応じて支援します。

- ① **対象作物**：令和5年産の新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）
- ② **交付単価**：新市場開拓用米 4万円/10a
加工用米 3万円/10a
米粉用米（パン・めん用の専用品種）9万円/10a
- ③ **採択基準**：地域協議会単位で、取組面積等の評価基準（ポイント）に基づき、**予算の範囲内で採択**

<留意事項>

- ※1 令和5年産の基幹作が対象です。
- ※2 農業者等が実需者と販売契約を締結する又はその計画を有している必要があります。
- ※3 本支援の対象となった面積は、令和5年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米、米粉用米）及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米）の対象面積から除きます。
- ※4 予算額のうち、33百万円を農業再生協議会等の事務費として計上しています。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【産地・実需協働プラン】

- ✓ 産地と実需者が連携し、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米について、需要拡大のために必要な生産対策や需要の創出・拡大に係る取組内容、目標等を盛り込んだ計画

実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の技術導入



【例】スマート農業機器の活用



直播栽培



土壌診断に基づく施肥

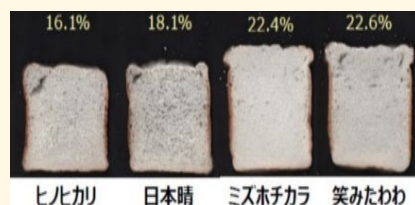
米粉用米（パン・めん用の専用品種）の例

（パン用の専用品種）

- ・ミスホチカラ
- ・笑みたわわ 等

（めん用の専用品種）

- ・亜細亜（あじあ）のかおり
- ・ふくのこ 等



(3) 小麦・大豆の国産化の推進

【令和5年度予算概算決定額 90(100)百万円】
 (令和4年度補正予算額 14,361百万円)

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**や**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加 (76万t→108万t)
- 大麦・はだか麦生産量の増加 (17万t→23万t)
- 大豆生産量の増加 (21万t→34万t)

<事業の内容>

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策

① 生産対策 (小麦・大豆生産技術向上事業)

小麦・大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術の導入**等を支援します。

② 流通対策

ア 麦類供給円滑化事業

国産小麦を**一定期間保管**することで安定供給体制を構築する取組を支援します。

イ 新たな小麦・大豆流通モデルづくり事業

小麦・大豆の流通構造の転換に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。

③ 消費対策 (小麦・大豆利用拡大事業)

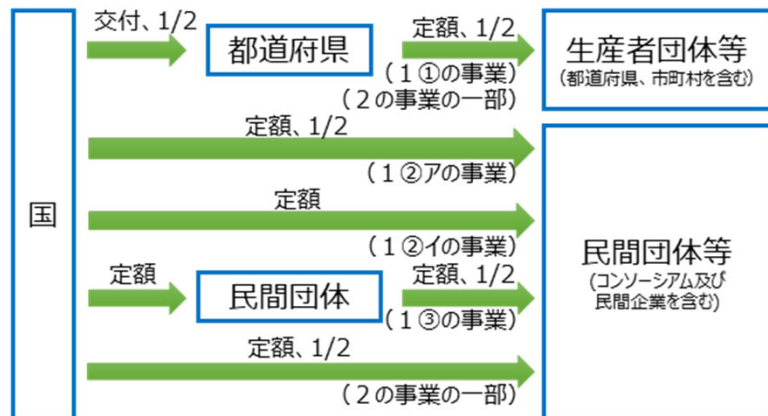
国産小麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**や**PR、マッチング**等を支援します。

2. 産地生産基盤パワーアップ事業のうち

国産シェア拡大対策 (小麦・大豆)

産地と実需が連携して国産小麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**農業機械**や**乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産小麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**等を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

生産対策



営農技術の導入
(定額)



農業機械の導入
(1/2以内)



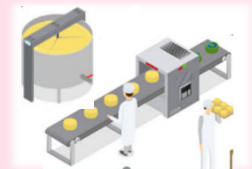
乾燥調製施設の整備
(1/2以内)

流通対策



- ・ スtockセンターの整備 (1/2以内)
- ・ 一定期間の保管 (定額、1/2以内)

消費対策



- ・ 新商品の開発 (定額、1/2以内)
- ・ 加工設備・施設の導入 (1/2以内)

小麦・大豆の国産化を一層推進

※本事業は申請内容を踏まえて審査し、予算の範囲内で補助対象者が決定される補助事業です。

水田農業の未来を考える 動画コンテンツの配信について

去年は
計2.2万回
再生！

令和5年産の作付計画や中長期的な産地づくりの方針などを検討する際に必要となる、水田農業の取組方針や、飼料用米の支援のあり方、米の輸出、麦、大豆などの各品目の需給動向などの情報を解説動画として配信します。

地域における産地づくりの話し合いの際などに是非ご活用ください。

YouTube (MAFFチャンネル) に公開中！ぜひご視聴ください！

<http://www.youtube.com/user/maffchannel>



1-1. 令和5年産に向けた水田農業の取組方針

1-2. 畑地化支援について

1-3. 令和5年度水田関連予算

【企画課水田農業対策室長】木村 崇之



2. 米の輸出をめぐる状況について

【企画課
戦略的輸出事業者対策班】
課長補佐

富吉 要一郎

with 木村室長



6. 野菜の需給動向等について

近日公開予定

3. 米粉をめぐる状況について

【穀物課
新用途米穀推進班】
課長補佐

小俣 範雄

with 木村室長



7. 果樹の需給動向について

【園芸作物課 果樹振興班】
課長補佐

浅野 真宏

with 木村室長



4. 需要に応じた麦生産

【貿易業務課 消費流通第2班】

課長補佐 藤田 倫康

【穀物課 麦生産班】

課長補佐 福田 満

with 木村室長



8. 土づくり（地力増進作物）・有機農業

【農業環境対策課
総括及び総務班】

課長補佐

永田 一穂

with 木村室長



5. 大豆の需要について

【穀物課 豆類班】

課長補佐

佐々木 敏晃

with 木村室長



9. 水田における飼料作物(青刈りとうもろこし等)の生産拡大について

【畜産局飼料課
飼料生産振興班】

課長補佐 with

齋藤 将司 木村室長



1 米の民間在庫情報

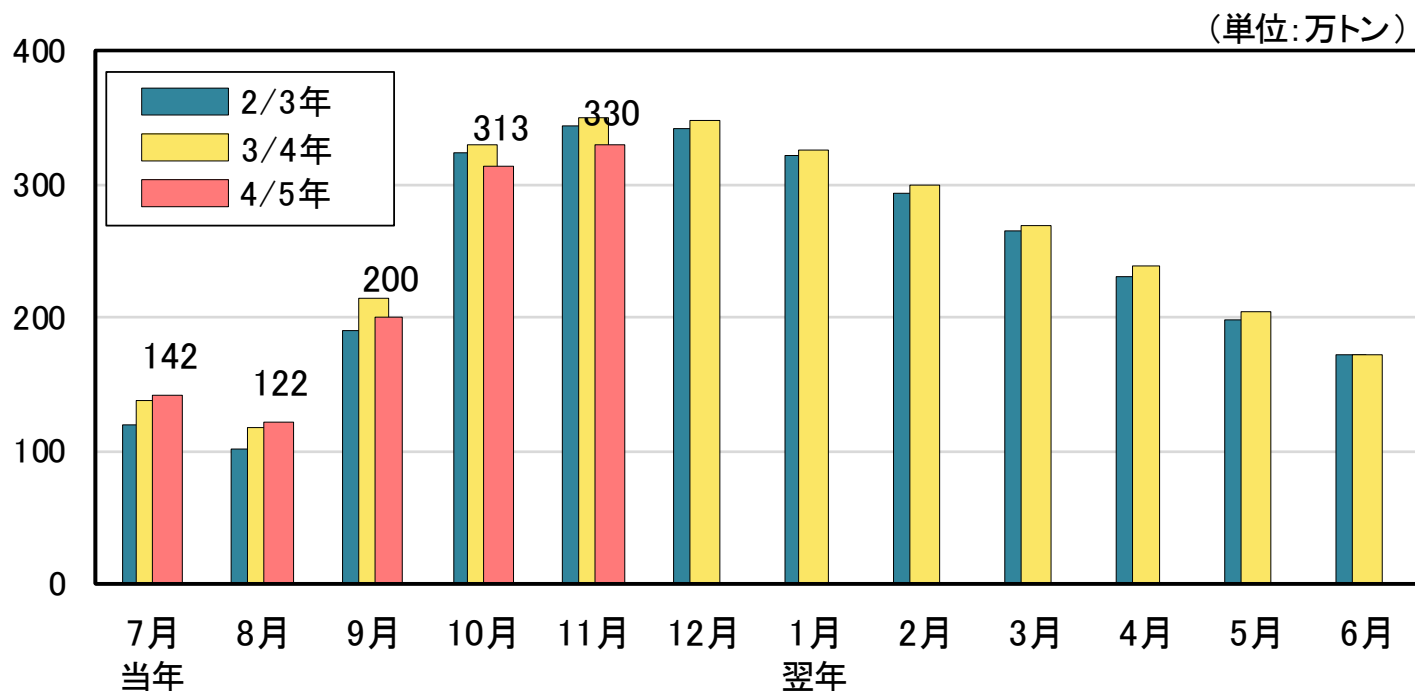
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和4年11月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲21万トンの330万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲20万トンの278万トン、販売段階で▲1万トンの52万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	200	313	330							
対前年差	+3	+4	▲14	▲17	▲21							
4年産米	1	12	113	237	264							
1年古米(3年産)	124	94	71	58	49							

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、4/5年であれば、令和4年7月～5年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	97	166	263	278							
対前年差	+10	+8	▲12	▲14	▲20							
4年産米	0	9	98	209	232							
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36							

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52							
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1							
4年産米	0	3	15	28	32							
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13							

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	3年	3年	4年	対前年	対前年	4年	対前月差	対前年	対前年
	10月	11月	10月	同月差	同月比	11月		同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	361.6	408.6	314.0	▲ 47.6	▲ 13.2%	331.5	17.5	▲ 77.1	▲ 18.9%
青森	156.8	173.4	132.3	▲ 24.5	▲ 15.6%	149.2	17.0	▲ 24.1	▲ 13.9%
岩手	132.5	148.6	129.0	▲ 3.5	▲ 2.6%	135.5	6.6	▲ 13.1	▲ 8.8%
宮城	220.1	213.7	184.9	▲ 35.2	▲ 16.0%	182.3	▲ 2.6	▲ 31.4	▲ 14.7%
秋田	291.6	300.8	257.9	▲ 33.7	▲ 11.6%	267.3	9.4	▲ 33.5	▲ 11.1%
山形	207.1	217.6	175.7	▲ 31.4	▲ 15.2%	190.4	14.8	▲ 27.2	▲ 12.5%
福島	197.7	193.9	169.8	▲ 27.9	▲ 14.1%	176.7	6.9	▲ 17.2	▲ 8.9%
茨城	155.4	151.2	149.5	▲ 5.9	▲ 3.8%	148.0	▲ 1.5	▲ 3.2	▲ 2.1%
栃木	184.7	190.9	161.2	▲ 23.6	▲ 12.8%	171.6	10.4	▲ 19.3	▲ 10.1%
群馬	7.4	18.7	9.2	+ 1.8	+ 24.4%	20.0	10.8	+ 1.4	+ 7.3%
埼玉	36.1	41.5	34.1	▲ 2.0	▲ 5.5%	42.7	8.6	+ 1.2	+ 2.8%
千葉	101.3	95.7	85.0	▲ 16.3	▲ 16.1%	78.7	▲ 6.3	▲ 17.0	▲ 17.7%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	2.2	2.1	2.6	+ 0.4	+ 15.7%	2.6	0.0	+ 0.4	+ 19.9%
山梨	3.7	3.8	3.8	+ 0.1	+ 2.7%	4.0	0.2	+ 0.2	+ 5.6%
長野	62.5	76.4	66.8	+ 4.3	+ 6.8%	78.1	11.4	+ 1.7	+ 2.2%
静岡	20.0	19.6	21.5	+ 1.5	+ 7.3%	21.6	0.1	+ 2.0	+ 10.2%
新潟	296.3	294.2	300.5	+ 4.2	+ 1.4%	293.7	▲ 6.7	▲ 0.5	▲ 0.2%
富山	104.5	100.7	97.1	▲ 7.5	▲ 7.2%	96.9	▲ 0.1	▲ 3.7	▲ 3.7%
石川	77.0	72.6	80.2	+ 3.2	+ 4.1%	73.8	▲ 6.4	+ 1.2	+ 1.6%
福井	69.0	65.1	66.9	▲ 2.1	▲ 3.0%	62.7	▲ 4.2	▲ 2.4	▲ 3.7%
岐阜	16.7	22.9	18.2	+ 1.5	+ 9.2%	24.8	6.6	+ 2.0	+ 8.6%
愛知	24.4	35.9	26.7	+ 2.3	+ 9.5%	36.2	9.5	+ 0.3	+ 0.8%
三重	42.4	41.6	44.5	+ 2.1	+ 5.0%	41.7	▲ 2.7	+ 0.1	+ 0.3%
滋賀	65.6	69.3	73.1	+ 7.5	+ 11.5%	64.5	▲ 8.6	▲ 4.7	▲ 6.9%
京都	12.9	13.2	12.8	▲ 0.1	▲ 0.8%	13.0	0.2	▲ 0.2	▲ 1.6%
大阪	0.8	1.1	0.8	+ 0.0	▲ 0.9%	1.3	0.5	+ 0.2	+ 17.1%
兵庫	42.4	38.5	41.7	▲ 0.7	▲ 1.6%	50.3	8.6	+ 11.7	+ 30.4%
奈良	6.9	10.1	9.0	+ 2.0	+ 28.9%	12.8	3.8	+ 2.7	+ 26.6%
和歌山	1.1	1.0	0.7	▲ 0.4	▲ 32.4%	2.3	1.6	+ 1.3	+ 132.8%
鳥取	18.6	29.7	26.7	+ 8.1	+ 43.6%	26.2	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 11.9%
島根	26.8	26.7	29.0	+ 2.1	+ 8.0%	28.6	▲ 0.4	+ 1.9	+ 7.3%
岡山	29.4	42.6	29.2	▲ 0.2	▲ 0.7%	40.6	11.4	▲ 1.9	▲ 4.6%
広島	42.6	42.3	46.8	+ 4.1	+ 9.6%	46.6	▲ 0.2	+ 4.2	+ 10.0%
山口	27.9	31.3	37.3	+ 9.3	+ 33.5%	40.8	3.5	+ 9.5	+ 30.3%
徳島	14.8	13.3	13.9	▲ 0.9	▲ 5.9%	12.4	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 7.2%
香川	15.5	20.3	12.6	▲ 2.9	▲ 18.5%	17.4	4.7	▲ 2.9	▲ 14.5%
愛媛	10.6	13.5	13.9	+ 3.4	+ 31.7%	17.0	3.1	+ 3.5	+ 25.8%
高知	10.4	10.2	11.7	+ 1.3	+ 12.4%	11.3	▲ 0.4	+ 1.1	+ 11.1%
福岡	38.5	53.2	52.9	+ 14.3	+ 37.1%	66.2	13.3	+ 13.0	+ 24.5%
佐賀	23.9	26.3	29.0	+ 5.1	+ 21.4%	30.2	1.2	+ 3.9	+ 14.6%
長崎	6.6	8.4	7.9	+ 1.3	+ 20.1%	9.8	1.9	+ 1.3	+ 15.8%
熊本	35.1	43.5	34.6	▲ 0.5	▲ 1.6%	44.8	10.2	+ 1.3	+ 3.1%
大分	10.7	19.1	14.5	+ 3.8	+ 35.1%	20.1	5.6	+ 1.0	+ 5.1%
宮崎	11.1	13.9	13.6	+ 2.5	+ 22.3%	14.0	0.4	+ 0.1	+ 0.6%
鹿児島	17.4	23.7	21.7	+ 4.3	+ 25.0%	26.8	5.1	+ 3.0	+ 12.8%
沖縄	0.3	0.3	0.3	+ 0.0	+ 2.5%	0.3	0.0	+ 0.0	▲ 6.3%
全国	330万ト	351万ト	313万ト	▲ 17万ト	▲ 5.3%	330万ト	+ 17万ト	▲ 21万ト	▲ 5.9%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和3・4年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	出荷＋販売段階	158.7	125.1	198.5	314.0	331.5	
	4年産米			104.0	232.8	263.7	
	1年古米(3年産)	139.1	107.3	78.9	69.2	57.4	
	出荷段階	134.6	105.1	173.4	265.5	282.3	
	4年産米			92.1	199.2	225.5	
	1年古米(3年産)	118.2	89.9	67.9	56.2	47.9	
	販売段階	24.1	20.0	25.1	48.5	49.2	
	4年産米			11.9	33.7	38.2	
	1年古米(3年産)	20.9	17.4	11.1	13.1	9.5	
青森	出荷＋販売段階	63.7	48.9	57.8	132.3	149.2	
	4年産米			21.6	102.7	122.9	
	1年古米(3年産)	50.1	36.2	24.5	18.9	14.9	
	出荷段階	53.0	39.4	50.4	118.2	131.6	
	4年産米			21.2	95.4	113.4	
	1年古米(3年産)	40.5	27.8	18.6	13.5	10.7	
	販売段階	10.8	9.5	7.3	14.1	17.7	
	4年産米			0.4	7.3	9.6	
	1年古米(3年産)	9.6	8.4	5.9	5.4	4.2	
岩手	出荷＋販売段階	80.5	66.5	58.4	129.0	135.5	
	4年産米			7.4	83.1	98.0	
	1年古米(3年産)	76.4	63.1	48.3	43.7	36.0	
	出荷段階	72.9	59.1	52.1	115.0	121.1	
	4年産米			6.6	76.2	89.3	
	1年古米(3年産)	69.6	56.4	43.3	37.1	30.7	
	販売段階	7.7	7.3	6.3	13.9	14.4	
	4年産米			0.7	6.9	8.7	
	1年古米(3年産)	6.8	6.7	5.0	6.6	5.3	
宮城	出荷＋販売段階	112.7	92.6	109.0	184.9	182.3	
	4年産米		0.0	32.1	118.9	125.5	
	1年古米(3年産)	97.8	79.1	64.6	54.6	46.9	
	出荷段階	98.8	80.4	96.1	164.5	162.3	
	4年産米			28.9	107.8	113.8	
	1年古米(3年産)	85.7	68.7	56.5	46.9	40.1	
	販売段階	14.0	12.2	13.0	20.4	20.0	
	4年産米		0.0	3.2	11.1	11.7	
	1年古米(3年産)	12.1	10.3	8.1	7.7	6.8	
秋田	出荷＋販売段階	108.2	79.7	118.8	257.9	267.3	
	4年産米			64.6	209.8	223.8	
	1年古米(3年産)	94.0	66.8	42.7	37.0	33.1	
	出荷段階	93.1	65.8	107.3	237.7	245.9	
	4年産米			61.9	198.7	209.8	
	1年古米(3年産)	81.8	55.2	35.4	29.4	27.0	
	販売段階	15.1	13.9	11.6	20.1	21.4	
	4年産米			2.7	11.1	14.0	
	1年古米(3年産)	12.1	11.6	7.3	7.7	6.0	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
山形	出荷＋販売段階	92.2	70.8	82.3	175.7	190.4	
	4年産米		0.0	29.9	134.9	157.9	
	1年古米(3年産)	88.3	67.4	49.3	38.3	30.5	
	出荷段階	81.2	60.8	72.5	160.2	174.5	
	4年産米			28.8	126.5	148.1	
	1年古米(3年産)	79.2	59.0	42.1	32.3	25.1	
	販売段階	11.0	10.0	9.7	15.4	16.0	
	4年産米		0.0	1.2	8.4	9.7	
	1年古米(3年産)	9.2	8.4	7.3	6.0	5.5	
福島	出荷＋販売段階	81.0	63.6	63.7	169.8	176.7	
	4年産米		0.0	13.7	130.5	140.9	
	1年古米(3年産)	75.0	58.9	46.1	36.0	33.0	
	出荷段階	61.8	48.7	51.8	140.4	137.6	
	4年産米			13.0	115.9	119.1	
	1年古米(3年産)	57.5	45.4	36.1	22.2	16.7	
	販売段階	19.2	14.9	11.8	29.4	39.1	
	4年産米		0.0	0.7	14.6	21.9	
	1年古米(3年産)	17.5	13.5	10.0	13.8	16.3	
茨城	出荷＋販売段階	48.2	54.9	134.2	149.5	148.0	
	4年産米		18.7	104.5	124.6	126.0	
	1年古米(3年産)	39.2	27.8	22.1	17.7	15.2	
	出荷段階	34.9	38.8	102.2	115.0	115.0	
	4年産米		12.0	79.6	95.4	97.0	
	1年古米(3年産)	27.2	19.7	15.9	13.2	11.9	
	販売段階	13.3	16.1	32.0	34.5	33.0	
	4年産米		6.7	24.9	29.2	29.0	
	1年古米(3年産)	11.9	8.1	6.1	4.5	3.3	
栃木	出荷＋販売段階	100.2	82.8	129.7	161.2	171.6	
	4年産米		0.0	60.7	101.5	122.2	
	1年古米(3年産)	80.1	64.3	51.8	43.6	34.6	
	出荷段階	83.6	69.2	112.0	136.9	146.9	
	4年産米		0.0	53.8	87.9	106.4	
	1年古米(3年産)	65.9	52.4	42.0	33.6	26.5	
	販売段階	16.6	13.6	17.7	24.2	24.7	
	4年産米		0.0	7.0	13.6	15.8	
	1年古米(3年産)	14.2	11.9	9.9	10.0	8.1	
群馬	出荷＋販売段階	10.9	10.7	10.0	9.2	20.0	
	4年産米			0.0	1.2	13.3	
	1年古米(3年産)	8.2	8.1	7.7	5.7	4.5	
	出荷段階	8.9	8.5	7.6	7.0	17.3	
	4年産米				1.0	12.3	
	1年古米(3年産)	7.0	6.6	5.9	4.4	3.3	
	販売段階	1.9	2.2	2.4	2.1	2.7	
	4年産米			0.0	0.2	1.0	
	1年古米(3年産)	1.3	1.6	1.8	1.4	1.2	
埼玉	出荷＋販売段階	16.5	14.2	21.7	34.1	42.7	
	4年産米		0.5	10.3	22.9	32.7	
	1年古米(3年産)	13.6	10.9	8.9	9.0	7.9	
	出荷段階	14.2	12.0	18.0	27.3	35.1	
	4年産米		0.1	8.4	18.4	26.8	
	1年古米(3年産)	11.4	9.2	7.3	6.8	6.2	
	販売段階	2.3	2.2	3.7	6.8	7.6	
	4年産米		0.4	1.9	4.5	5.9	
	1年古米(3年産)	2.2	1.7	1.6	2.2	1.6	

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
千葉	出荷+販売段階	21.4	48.6	88.6	85.0	78.7		
	4年産米	0.0	33.4	75.9	74.3	68.8		
	1年古米(3年産)	9.1	4.0	2.2	1.6	1.3		
	出荷段階	13.2	39.4	73.8	71.1	66.9		
	4年産米		30.3	65.4	63.7	59.7		
	1年古米(3年産)	5.3	1.4	0.7	0.4	0.3		
	販売段階	8.2	9.2	14.8	13.9	11.8		
	4年産米	0.0	3.1	10.6	10.6	9.2		
	1年古米(3年産)	3.8	2.6	1.5	1.3	1.0		
	東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		4年産米				0.0	0.0	
		1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
出荷段階								
4年産米								
1年古米(3年産)								
販売段階		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
4年産米					0.0	0.0		
1年古米(3年産)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
神奈川		出荷+販売段階	0.7	0.5	0.6	2.6	2.6	
		4年産米			0.3	2.5	2.5	
		1年古米(3年産)	0.7	0.5	0.3	0.1	0.0	
	出荷段階	0.6	0.5	0.5	2.5	2.4		
	4年産米			0.3	2.4	2.4		
	1年古米(3年産)	0.6	0.4	0.2	0.1	0.0		
	販売段階	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1		
	4年産米			0.0	0.1	0.1		
	1年古米(3年産)	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0		
	山梨	出荷+販売段階	1.7	1.3	1.9	3.8	4.0	
		4年産米			1.0	3.2	3.6	
		1年古米(3年産)	1.7	1.3	0.9	0.6	0.4	
出荷段階		1.4	1.0	1.7	3.5	3.6		
4年産米				1.0	3.1	3.3		
1年古米(3年産)		1.4	1.0	0.6	0.4	0.3		
販売段階		0.3	0.3	0.3	0.3	0.4		
4年産米				0.0	0.1	0.3		
1年古米(3年産)		0.3	0.3	0.2	0.2	0.1		
長野		出荷+販売段階	32.6	26.2	35.1	66.8	78.1	
		4年産米			14.5	46.7	62.0	
		1年古米(3年産)	32.0	25.7	20.3	19.7	15.8	
	出荷段階	29.2	23.0	31.8	58.9	70.5		
	4年産米			13.5	43.8	58.0		
	1年古米(3年産)	29.0	22.9	18.2	15.0	12.4		
	販売段階	3.4	3.2	3.3	7.9	7.6		
	4年産米			1.0	2.9	4.0		
	1年古米(3年産)	3.0	2.9	2.1	4.7	3.4		
	静岡	出荷+販売段階	4.0	6.0	15.5	21.5	21.6	
		4年産米		3.5	13.9	20.4	21.0	
		1年古米(3年産)	4.0	2.5	1.7	1.1	0.6	
出荷段階		1.0	2.3	8.3	13.5	14.0		
4年産米			1.7	8.0	13.3	13.9		
1年古米(3年産)		1.0	0.5	0.3	0.2	0.1		
販売段階		3.0	3.8	7.2	8.0	7.6		
4年産米			1.8	5.9	7.1	7.1		
1年古米(3年産)		3.0	2.0	1.4	0.9	0.6		

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
新潟	出荷+販売段階	81.7	55.1	210.0	300.5	293.7		
	4年産米		0.8	176.6	273.8	272.2		
	1年古米(3年産)	74.0	47.5	28.1	22.8	19.2		
	出荷段階	62.7	40.0	189.6	271.6	265.6		
	4年産米		0.7	164.3	252.4	250.3		
	1年古米(3年産)	57.3	34.5	21.5	16.6	14.0		
	販売段階	19.0	15.0	20.5	28.9	28.1		
	4年産米		0.1	12.3	21.4	21.9		
	1年古米(3年産)	16.6	13.0	6.6	6.2	5.2		
	富山	出荷+販売段階	33.1	27.0	72.4	97.1	96.9	
		4年産米		1.1	51.4	81.7	83.0	
		1年古米(3年産)	31.5	24.7	20.2	14.8	13.4	
出荷段階		25.8	20.9	64.2	86.3	86.7		
4年産米			0.6	47.6	76.1	77.6		
1年古米(3年産)		25.6	20.2	16.6	10.0	9.0		
販売段階		7.4	6.1	8.1	10.8	10.2		
4年産米			0.4	3.9	5.6	5.4		
1年古米(3年産)		5.8	4.5	3.6	4.8	4.4		
石川		出荷+販売段階	27.2	25.6	67.6	80.2	73.8	
		4年産米		3.5	48.7	63.8	59.4	
		1年古米(3年産)	24.5	19.6	16.7	14.4	12.5	
	出荷段階	22.2	21.0	50.8	60.5	55.7		
	4年産米		1.9	33.9	46.2	43.0		
	1年古米(3年産)	20.1	17.0	15.0	12.6	11.2		
	販売段階	5.0	4.7	16.9	19.7	18.1		
	4年産米		1.6	14.8	17.6	16.5		
	1年古米(3年産)	4.5	2.6	1.7	1.8	1.3		
	福井	出荷+販売段階	22.0	24.0	51.6	66.9	62.7	
		4年産米		6.7	37.0	57.1	53.8	
		1年古米(3年産)	18.0	13.6	11.1	6.6	6.0	
出荷段階		17.4	16.5	37.4	50.9	48.1		
4年産米			2.7	25.5	44.4	42.0		
1年古米(3年産)		15.0	11.5	9.5	4.3	3.9		
販売段階		4.6	7.5	14.2	16.0	14.6		
4年産米			3.9	11.5	12.7	11.8		
1年古米(3年産)		2.9	2.1	1.6	2.3	2.1		
岐阜		出荷+販売段階	15.1	13.5	13.1	18.2	24.8	
		4年産米		1.1	3.1	9.8	17.7	
		1年古米(3年産)	13.2	10.8	8.5	7.1	6.0	
	出荷段階	10.5	8.8	8.7	11.8	18.3		
	4年産米		0.7	2.3	7.5	14.5		
	1年古米(3年産)	9.9	7.5	5.8	3.8	3.4		
	販売段階	4.6	4.7	4.4	6.5	6.5		
	4年産米		0.4	0.8	2.4	3.2		
	1年古米(3年産)	3.3	3.3	2.7	3.3	2.6		
	愛知	出荷+販売段階	14.0	12.8	17.7	26.7	36.2	
		4年産米		1.9	10.2	21.3	31.8	
		1年古米(3年産)	13.4	10.3	7.0	4.8	4.0	
出荷段階		11.5	9.8	13.6	19.6	28.7		
4年産米			1.2	8.4	18.0	27.2		
1年古米(3年産)		11.2	8.3	5.0	1.4	1.3		
販売段階		2.5	3.0	4.1	7.0	7.5		
4年産米			0.8	1.9	3.4	4.6		
1年古米(3年産)		2.2	2.0	2.0	3.4	2.6		

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三重	出荷+販売段階	11.0	16.9	38.4	44.5	41.7		
	4年産米		9.8	33.0	39.9	37.8		
	1年古米(3年産)	8.9	5.2	3.9	3.4	2.9		
	出荷段階	8.3	13.6	33.7	38.4	35.9		
	4年産米		8.5	29.7	35.7	33.5		
	1年古米(3年産)	6.9	3.9	2.9	2.5	2.2		
	販売段階	2.7	3.3	4.7	6.1	5.8		
	4年産米		1.3	3.3	4.2	4.3		
	1年古米(3年産)	1.9	1.4	1.0	0.9	0.7		
	滋賀	出荷+販売段階	26.4	21.9	64.7	73.1	64.5	
		4年産米		3.9	47.8	59.8	53.5	
		1年古米(3年産)	24.9	16.7	15.9	12.6	10.5	
出荷段階		22.0	18.3	57.5	65.8	57.4		
4年産米			3.8	46.2	56.6	49.8		
1年古米(3年産)		21.2	13.8	10.7	8.7	7.2		
販売段階		4.3	3.6	7.2	7.3	7.1		
4年産米			0.1	1.7	3.2	3.6		
1年古米(3年産)		3.7	3.0	5.2	3.9	3.2		
京都		出荷+販売段階	3.5	2.2	9.4	12.8	13.0	
		4年産米			8.0	11.9	12.5	
		1年古米(3年産)	3.3	2.1	1.3	0.8	0.5	
	出荷段階	2.8	1.7	8.7	11.7	11.9		
	4年産米			7.7	11.3	11.7		
	1年古米(3年産)	2.8	1.7	1.0	0.4	0.2		
	販売段階	0.6	0.5	0.7	1.1	1.1		
	4年産米			0.3	0.6	0.8		
	1年古米(3年産)	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3		
	大阪	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.6	0.8	1.3	
		4年産米			0.3	0.5	1.1	
		1年古米(3年産)	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	
出荷段階		0.5	0.4	0.6	0.6	1.1		
4年産米				0.3	0.5	1.1		
1年古米(3年産)		0.5	0.4	0.3	0.1	0.0		
販売段階		0.0	0.0	0.0	0.2	0.2		
4年産米					0.0	0.0		
1年古米(3年産)		0.0	0.0	0.0	0.2	0.2		
兵庫		出荷+販売段階	19.8	15.4	31.8	41.7	50.3	
		4年産米		0.0	20.2	34.6	46.2	
		1年古米(3年産)	18.5	14.2	10.4	6.0	3.0	
	出荷段階	17.1	13.3	29.0	36.2	44.6		
	4年産米			19.1	31.2	42.2		
	1年古米(3年産)	16.0	12.3	8.9	4.0	1.5		
	販売段階	2.7	2.1	2.8	5.5	5.6		
	4年産米		0.0	1.2	3.4	4.0		
	1年古米(3年産)	2.4	1.9	1.5	2.0	1.5		
	奈良	出荷+販売段階	4.4	3.6	3.6	9.0	12.8	
		4年産米			1.0	7.1	11.0	
		1年古米(3年産)	4.2	3.3	2.4	1.7	1.6	
出荷段階		3.5	2.8	3.0	7.5	10.8		
4年産米				0.9	6.2	9.6		
1年古米(3年産)		3.5	2.8	2.0	1.3	1.2		
販売段階		1.0	0.7	0.7	1.5	2.0		
4年産米				0.1	0.9	1.4		
1年古米(3年産)		0.8	0.5	0.4	0.4	0.4		

(和歌山から山口)

(単位:千玄トン)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
和歌山	出荷+販売段階	0.8	0.7	1.2	0.7	2.3		
	4年産米		0.0	0.6	0.2	1.8		
	1年古米(3年産)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5		
	出荷段階			0.5				
	4年産米			0.5				
	1年古米(3年産)							
	販売段階	0.8	0.7	0.7	0.7	2.3		
	4年産米		0.0	0.1	0.2	1.8		
	1年古米(3年産)	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5		
	鳥取	出荷+販売段階	14.0	11.0	15.9	26.7	26.2	
		4年産米		0.0	7.8	20.1	21.4	
		1年古米(3年産)	12.9	10.3	7.6	6.2	4.6	
出荷段階		12.4	9.8	14.4	24.6	24.1		
4年産米			0.0	7.3	19.0	20.0		
1年古米(3年産)		12.0	9.5	6.9	5.4	4.0		
販売段階		1.6	1.3	1.6	2.1	2.1		
4年産米				0.5	1.1	1.4		
1年古米(3年産)		0.9	0.8	0.8	0.8	0.6		
島根		出荷+販売段階	11.8	9.4	20.4	29.0	28.6	
		4年産米		0.4	13.9	24.3	24.6	
		1年古米(3年産)	11.0	8.4	6.2	4.4	3.8	
	出荷段階	9.4	7.4	18.0	24.8	24.6		
	4年産米		0.4	12.8	21.9	22.1		
	1年古米(3年産)	9.2	6.9	5.1	2.8	2.4		
	販売段階	2.4	1.9	2.5	4.2	4.0		
	4年産米		0.0	1.1	2.4	2.5		
	1年古米(3年産)	1.8	1.5	1.1	1.6	1.4		
	岡山	出荷+販売段階	20.7	14.0	17.7	29.2	40.6	
		4年産米		0.0	8.1	22.5	36.6	
		1年古米(3年産)	20.1	13.7	9.3	6.4	3.8	
出荷段階		16.7	11.3	13.7	23.7	35.5		
4年産米			0.0	6.7	19.6	32.7		
1年古米(3年産)		16.4	11.3	7.0	4.0	2.8		
販売段階		4.0	2.7	4.0	5.5	5.1		
4年産米			0.0	1.4	2.9	3.9		
1年古米(3年産)		3.7	2.5	2.3	2.3	1.1		
広島		出荷+販売段階	17.6	14.3	30.8	46.8	46.6	
		4年産米		0.2	19.2	37.0	38.0	
		1年古米(3年産)	15.6	12.5	10.2	8.6	7.7	
	出荷段階	11.6	9.2	25.6	37.4	37.3		
	4年産米		0.2	18.2	34.8	35.2		
	1年古米(3年産)	11.4	8.9	7.4	2.5	2.1		
	販売段階	6.0	5.1	5.1	9.4	9.2		
	4年産米		0.0	1.0	2.2	2.9		
	1年古米(3年産)	4.2	3.6	2.9	6.1	5.6		
	山口	出荷+販売段階	16.6	14.8	24.9	37.3	40.8	
		4年産米		0.5	13.2	26.2	30.9	
		1年古米(3年産)	16.5	14.1	11.7	11.1	9.8	
出荷段階		15.3	13.7	23.4	33.9	37.0		
4年産米			0.4	12.5	24.8	29.1		
1年古米(3年産)		15.3	13.2	10.9	9.2	7.9		
販売段階		1.3	1.1	1.6	3.4	3.7		
4年産米			0.1	0.7	1.4	1.8		
1年古米(3年産)		1.2	0.9	0.8	1.9	1.9		

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
徳島	出荷+販売段階	2.8	10.1	15.2	13.9	12.4	
	4年産米		8.0	13.5	12.6	11.3	
	1年古米(3年産)	2.1	1.5	1.2	0.9	0.7	
	出荷段階	1.3	8.0	12.4	10.9	9.9	
	4年産米		7.0	11.7	10.7	9.8	
	1年古米(3年産)	1.2	0.8	0.5	0.1	0.0	
	販売段階	1.5	2.2	2.9	3.0	2.5	
	4年産米		1.0	1.8	1.8	1.5	
	1年古米(3年産)	0.9	0.6	0.7	0.9	0.7	
香川	出荷+販売段階	8.6	6.9	8.6	12.6	17.4	
	4年産米		0.3	3.6	9.2	14.8	
	1年古米(3年産)	8.3	6.3	4.6	3.3	2.4	
	出荷段階	7.4	5.5	6.9	10.3	15.0	
	4年産米			2.9	8.3	13.8	
	1年古米(3年産)	7.2	5.4	3.8	2.1	1.2	
	販売段階	1.2	1.4	1.7	2.3	2.3	
	4年産米		0.3	0.7	1.0	1.0	
	1年古米(3年産)	1.0	0.9	0.8	1.2	1.2	
愛媛	出荷+販売段階	5.0	6.4	9.2	13.9	17.0	
	4年産米		2.2	5.6	10.7	14.2	
	1年古米(3年産)	4.9	4.1	3.5	3.1	2.7	
	出荷段階	4.6	5.9	8.7	13.4	16.4	
	4年産米		2.2	5.4	10.5	13.9	
	1年古米(3年産)	4.6	3.7	3.2	2.9	2.5	
	販売段階	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	
	4年産米		0.1	0.1	0.2	0.3	
	1年古米(3年産)	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	
高知	出荷+販売段階	3.6	10.7	10.0	11.7	11.3	
	4年産米	0.4	8.1	7.8	9.7	9.4	
	1年古米(3年産)	2.7	2.1	1.7	1.6	1.4	
	出荷段階	0.6	5.0	4.8	6.2	5.1	
	4年産米	0.2	4.7	4.6	6.0	4.9	
	1年古米(3年産)	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	
	販売段階	3.0	5.7	5.2	5.5	6.2	
	4年産米	0.2	3.4	3.2	3.7	4.5	
	1年古米(3年産)	2.2	1.8	1.5	1.4	1.3	
福岡	出荷+販売段階	28.7	22.4	34.1	52.9	66.2	
	4年産米		1.4	18.7	41.5	56.7	
	1年古米(3年産)	28.3	20.8	15.2	11.2	9.3	
	出荷段階	25.9	18.7	25.7	41.3	55.7	
	4年産米		0.7	12.7	33.2	48.8	
	1年古米(3年産)	25.9	18.0	12.9	8.0	6.9	
	販売段階	2.7	3.8	8.4	11.6	10.5	
	4年産米		0.7	6.0	8.3	8.0	
	1年古米(3年産)	2.4	2.8	2.2	3.1	2.4	
佐賀	出荷+販売段階	18.1	15.3	16.4	29.0	30.2	
	4年産米		0.1	4.0	19.8	23.1	
	1年古米(3年産)	18.1	15.2	12.4	9.2	7.1	
	出荷段階	17.2	14.4	15.5	24.1	25.7	
	4年産米		0.1	3.8	18.7	21.8	
	1年古米(3年産)	17.2	14.3	11.6	5.4	3.9	
	販売段階	0.9	0.9	0.9	4.9	4.5	
	4年産米		0.1	0.2	1.1	1.4	
	1年古米(3年産)	0.9	0.8	0.8	3.8	3.1	

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		4年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
長崎	出荷+販売段階	5.5	5.1	5.1	7.9	9.8	
	4年産米		0.6	1.4	4.8	6.8	
	1年古米(3年産)	5.5	4.5	3.6	3.1	3.0	
	出荷段階	5.2	4.8	4.7	6.9	8.6	
	4年産米		0.6	1.2	4.3	6.3	
	1年古米(3年産)	5.2	4.3	3.4	2.6	2.3	
	販売段階	0.3	0.3	0.4	1.0	1.2	
	4年産米		0.0	0.2	0.4	0.5	
	1年古米(3年産)	0.3	0.2	0.2	0.5	0.7	
熊本	出荷+販売段階	20.9	17.9	17.5	34.6	44.8	
	4年産米		2.1	5.8	25.3	37.4	
	1年古米(3年産)	19.5	14.8	10.8	8.4	6.6	
	出荷段階	16.6	13.5	12.8	24.8	34.7	
	4年産米		1.1	3.6	17.3	29.1	
	1年古米(3年産)	16.2	12.1	9.0	7.3	5.6	
	販売段階	4.3	4.4	4.7	9.8	10.1	
	4年産米		1.0	2.3	8.0	8.4	
	1年古米(3年産)	3.3	2.7	1.7	1.1	1.0	
大分	出荷+販売段階	9.8	8.4	8.5	14.5	20.1	
	4年産米		0.4	2.2	10.0	16.5	
	1年古米(3年産)	9.7	8.0	6.3	4.5	3.6	
	出荷段階	6.9	5.9	6.1	9.9	14.4	
	4年産米		0.3	1.7	7.1	12.0	
	1年古米(3年産)	6.9	5.6	4.4	2.8	2.4	
	販売段階	2.8	2.5	2.4	4.6	5.7	
	4年産米		0.1	0.6	2.9	4.5	
	1年古米(3年産)	2.8	2.4	1.9	1.7	1.2	
宮崎	出荷+販売段階	10.7	12.5	8.9	13.6	14.0	
	4年産米	4.1	6.7	4.0	10.2	10.9	
	1年古米(3年産)	6.5	5.8	4.8	3.4	3.0	
	出荷段階	6.8	7.0	3.8	7.0	7.9	
	4年産米	2.5	3.3	0.8	6.5	7.6	
	1年古米(3年産)	4.3	3.7	3.0	0.4	0.2	
	販売段階	3.9	5.5	5.1	6.6	6.1	
	4年産米	1.5	3.4	3.2	3.6	3.2	
	1年古米(3年産)	2.3	2.1	1.8	3.0	2.8	
鹿児島	出荷+販売段階	12.8	14.1	13.0	21.7	26.8	
	4年産米	0.7	3.0	3.4	13.1	18.6	
	1年古米(3年産)	9.6	8.8	7.4	6.5	6.3	
	出荷段階	9.0	9.4	6.6	14.2	18.2	
	4年産米	0.2	1.7	1.1	9.6	13.9	
	1年古米(3年産)	7.6	6.6	4.5	3.7	3.6	
	販売段階	3.8	4.8	6.4	7.5	8.6	
	4年産米	0.4	1.3	2.3	3.5	4.8	
	1年古米(3年産)	2.0	2.2	2.9	2.9	2.7	
沖縄	出荷+販売段階	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	
	4年産米	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	
	1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0			
	出荷段階	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	
	4年産米	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	
	1年古米(3年産)	0.0	0.0	0.0			
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	
	4年産米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	
	1年古米(3年産)	0.0					

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

2 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

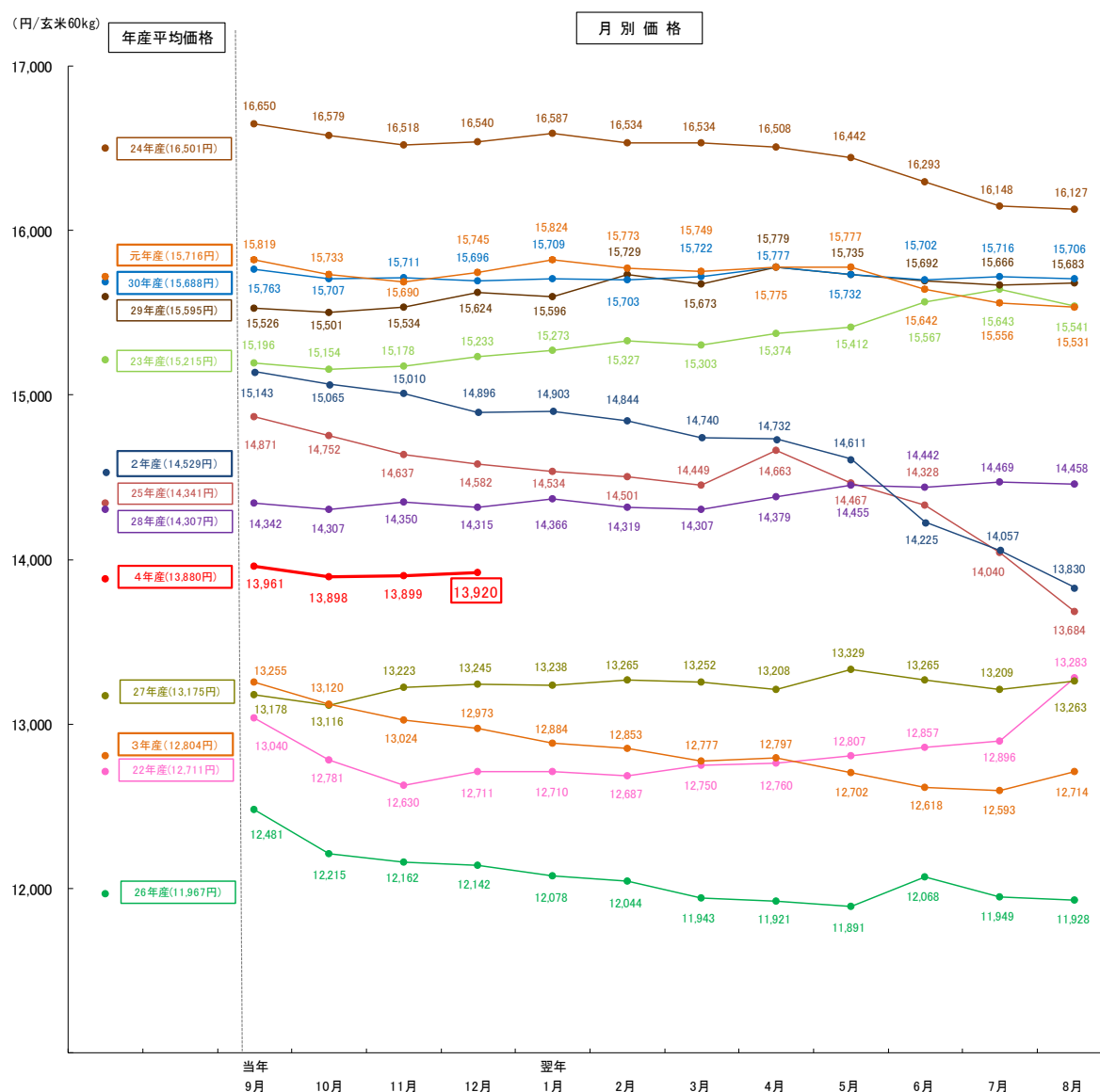
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
 【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

- 令和4年産米の令和4年12月の相対取引価格は、全銘柄平均で対前月差+21円の13,920円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は対前年産+1,076円の13,880円/60kgとなったところ。

産地銘柄ごとの価格は、「価格-3」以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

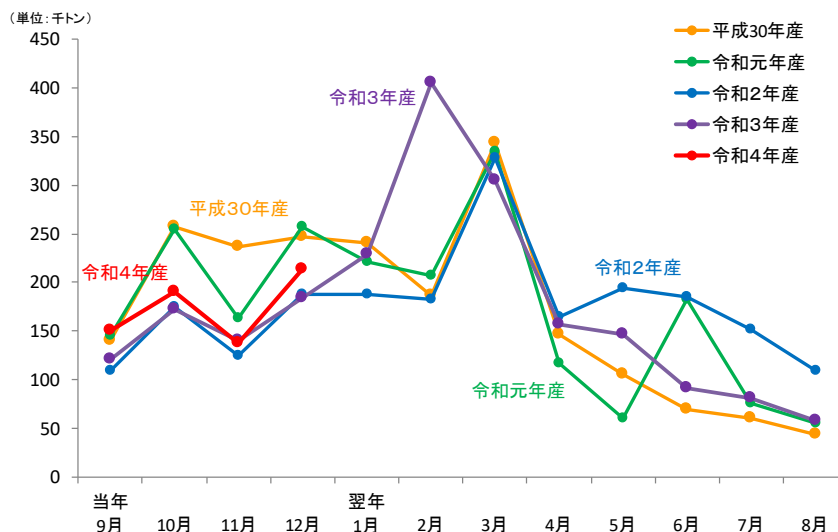
2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の通年平均価格（当該年産の出回りから翌年10月まで（4年産は出回りから12月までの速報値））、右側は月別の価格である。

(2) 相対取引契約数量の推移

- 令和4年産米の令和4年12月の相対取引契約数量は、21.4万トンとなり、出回りからの契約数量は対前年同期差+7.3万トンの71.6万トンとなったところ。

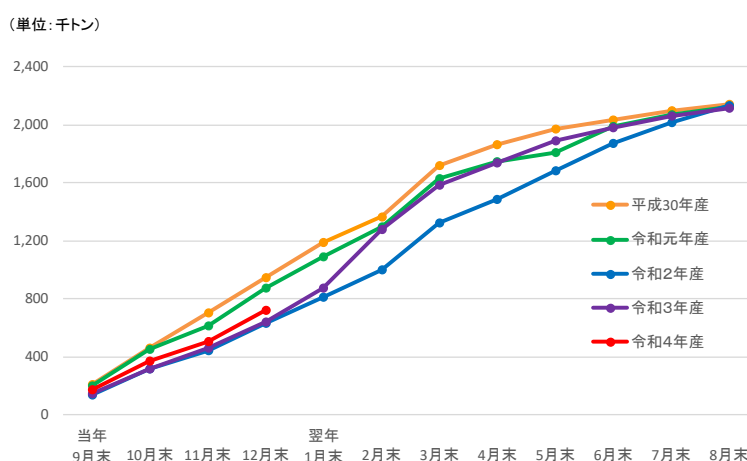
① 相対取引契約の月別数量



(単位: 千トン)

年産	当年 9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年産計
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	2,191
令和2年産	110	175	125	188	187	183	328	164	194	185	152	109	2,267
令和3年産	121	172	140	185	228	405	305	157	147	91	81	58	2,207
令和4年産	151	190	137	214									

② 相対取引契約の累積数量



(単位: 千トン)

年産	当年 9月末	10月末	11月末	12月末	翌年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	年産計
平成30年産	204	461	698	945	1,184	1,372	1,715	1,862	1,967	2,036	2,097	2,141	2,193
令和元年産	195	450	614	870	1,091	1,298	1,631	1,748	1,809	1,991	2,068	2,123	2,191
令和2年産	138	314	438	627	814	997	1,325	1,489	1,683	1,867	2,019	2,128	2,267
令和3年産	147	319	458	643	871	1,276	1,582	1,739	1,885	1,977	2,058	2,116	2,207
令和4年産	175	365	502	716									

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 相対取引数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計であり、契約後の契約変更等を含む（4年産は速報値）。

3 相対取引数量の年産計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和4年12月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

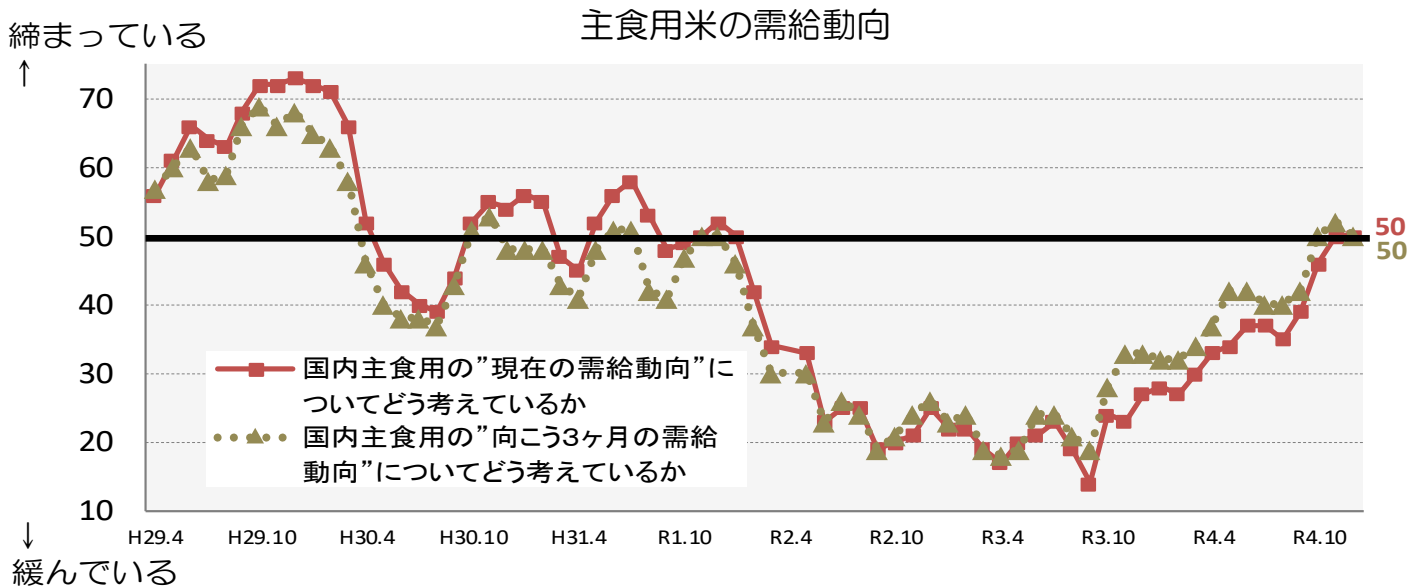
【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和4年12月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて±0ポイントの「横ばい」、見通し（向こう3ヶ月）判断は-2ポイントの「やや減少」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて±0ポイントの「横ばい」、見通し（向こう3ヶ月）判断は-2ポイントの「やや減少」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

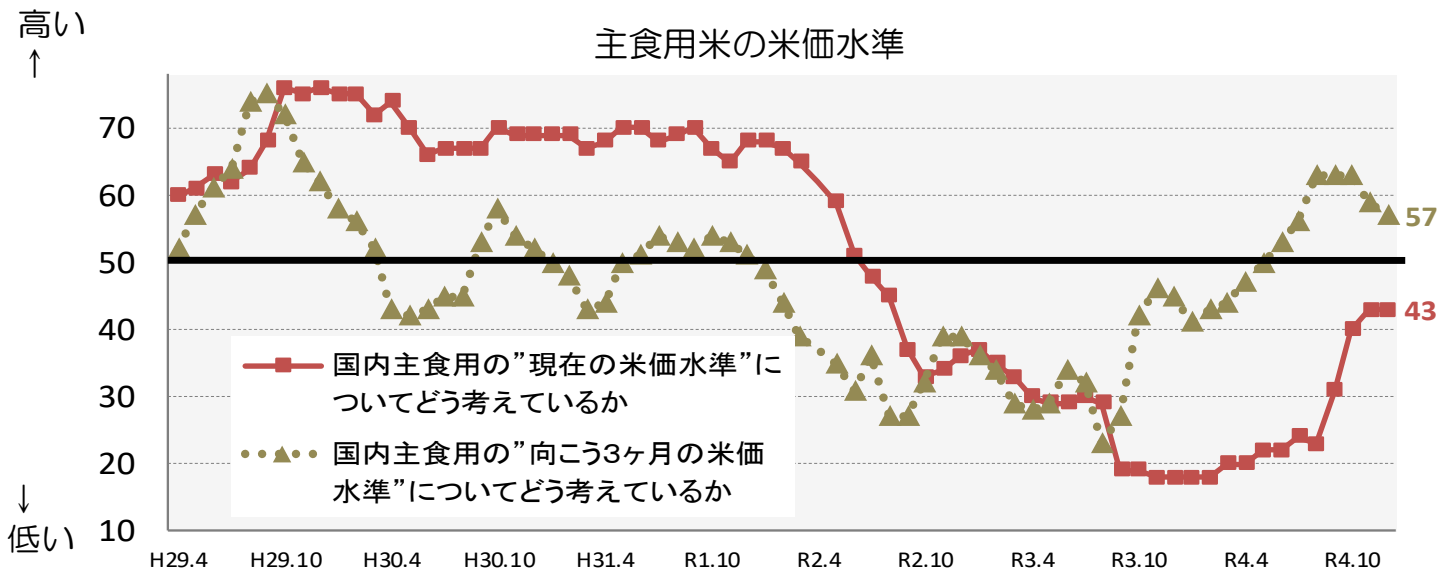
(ア) 現状判断 D I	前回からの増減	±0（今月の数値 50）
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月）	前回からの増減	▲2（今月の数値 50）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来) 締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来) 緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断 D I	前回からの増減	±0（今月の数値 43）
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月）	前回からの増減	▲2（今月の数値 57）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断D I

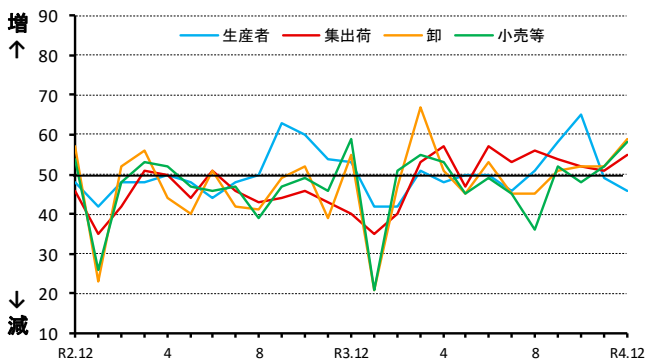
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	4 6)
集出荷：前回からの増減	+ 4	(今月の数値	5 5)
卸：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	5 9)
小売等：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	5 8)

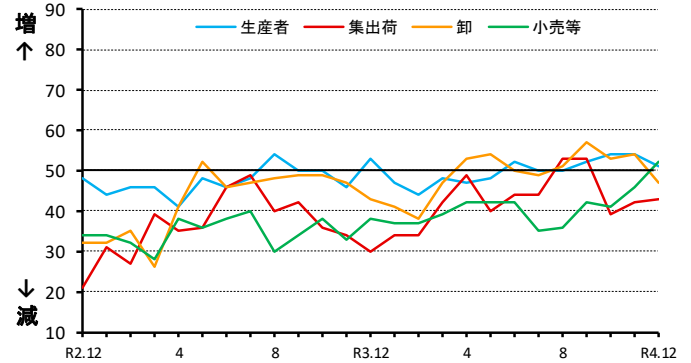
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	5 1)
集出荷：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	4 3)
卸：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	4 7)
小売等：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	5 2)

①-A-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、 "先月と比較"するといかがですか。



①-A-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、 "前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しD I

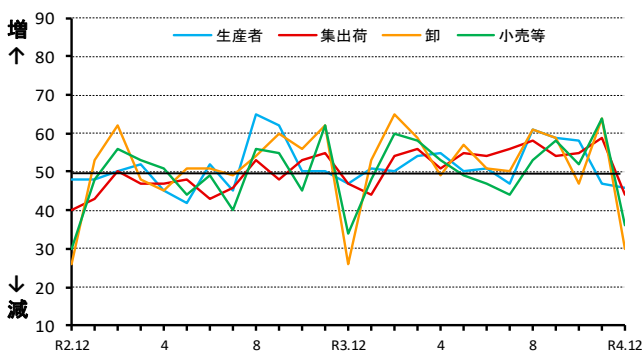
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 6)
集出荷：前回からの増減	▲ 15	(今月の数値	4 4)
卸：前回からの増減	▲ 34	(今月の数値	3 0)
小売等：前回からの増減	▲ 28	(今月の数値	3 6)

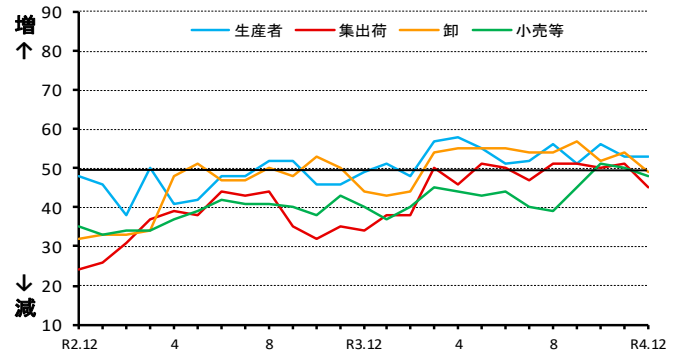
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	± 0	(今月の数値	5 3)
集出荷：前回からの増減	▲ 6	(今月の数値	4 5)
卸：前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	4 9)
小売等：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	4 8)

①-I-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、 "今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-I-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、 "前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

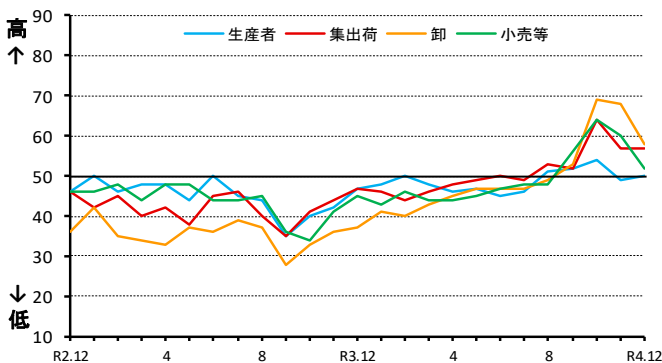
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+1	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	57)
卸：前回からの増減	▲10	(今月の数値	58)
小売等：前回からの増減	▲8	(今月の数値	52)

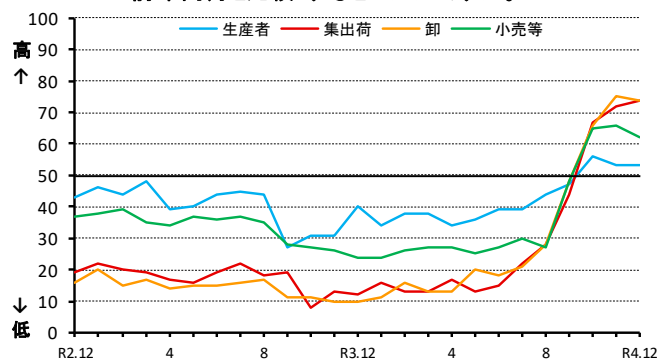
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	74)
卸：前回からの増減	▲1	(今月の数値	74)
小売等：前回からの増減	▲4	(今月の数値	62)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

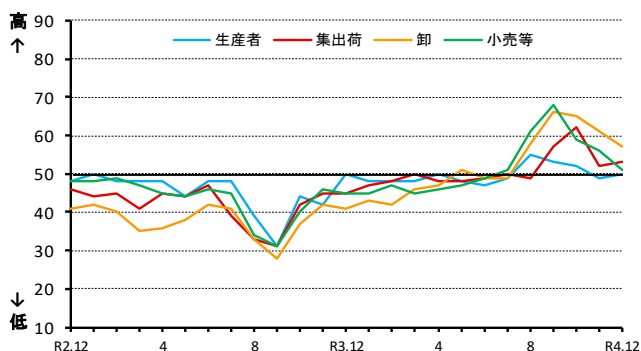
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+1	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	53)
卸：前回からの増減	▲4	(今月の数値	57)
小売等：前回からの増減	▲5	(今月の数値	51)

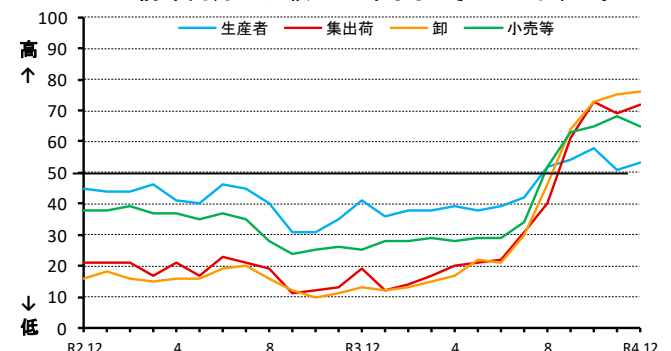
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	72)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	76)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	65)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

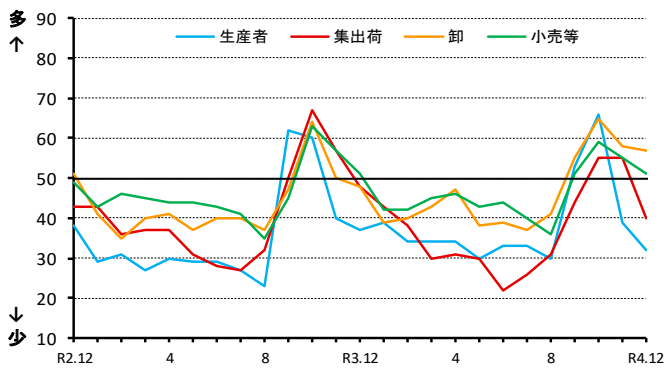
a. 先月との比較

生産者	: 前回からの増減	▲7	(今月の数値	32)
集出荷	: 前回からの増減	▲15	(今月の数値	40)
卸	: 前回からの増減	▲1	(今月の数値	57)
小売等	: 前回からの増減	▲4	(今月の数値	51)

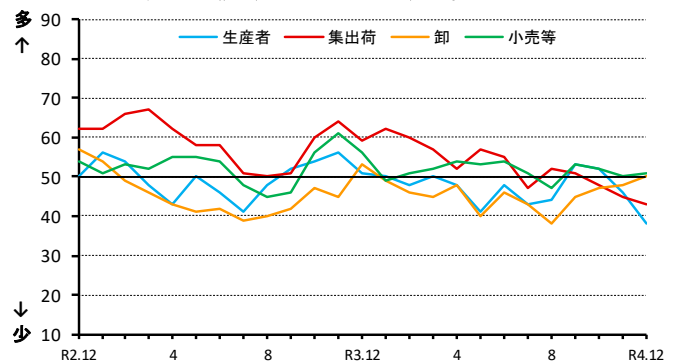
b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	▲8	(今月の数値	38)
集出荷	: 前回からの増減	▲2	(今月の数値	43)
卸	: 前回からの増減	+2	(今月の数値	50)
小売等	: 前回からの増減	+1	(今月の数値	51)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

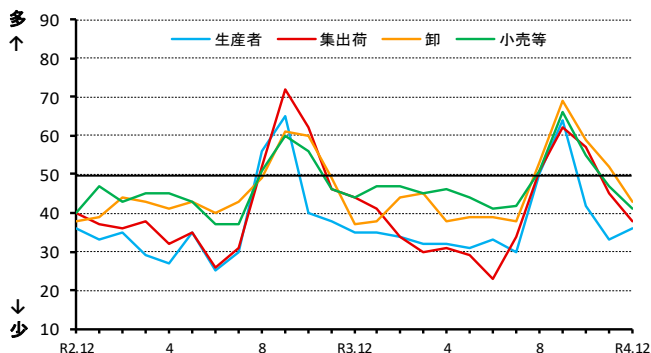
a. 今月との比較

生産者	: 前回からの増減	+3	(今月の数値	36)
集出荷	: 前回からの増減	▲7	(今月の数値	38)
卸	: 前回からの増減	▲9	(今月の数値	43)
小売等	: 前回からの増減	▲6	(今月の数値	41)

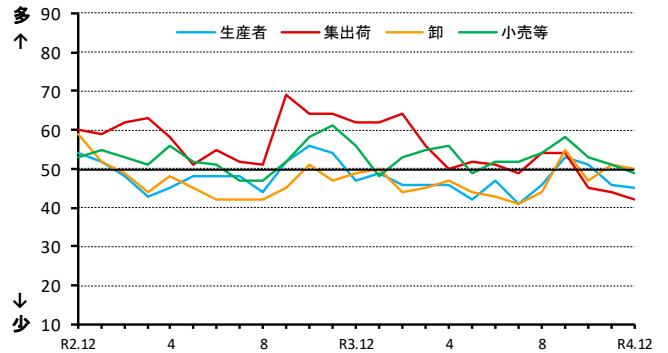
b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	▲1	(今月の数値	45)
集出荷	: 前回からの増減	▲2	(今月の数値	42)
卸	: 前回からの増減	▲1	(今月の数値	50)
小売等	: 前回からの増減	▲2	(今月の数値	49)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R2.12	4%	32%	4%	35%	19%	5%	1%
R3.1	2%	30%	4%	41%	18%	3%	2%
R3.2	1%	33%	5%	40%	19%	3%	0%
R3.3	2%	37%	0%	41%	16%	5%	0%
R3.4	1%	41%	2%	38%	14%	4%	0%
R3.5	2%	39%	1%	42%	11%	6%	0%
R3.6	1%	37%	6%	40%	10%	6%	0%
R3.7	4%	40%	6%	35%	8%	7%	1%
R3.8	3%	40%	3%	37%	7%	7%	2%
R3.9	5%	41%	3%	38%	7%	5%	1%
R3.10	5%	37%	7%	37%	7%	7%	0%
R3.11	5%	30%	5%	42%	9%	8%	0%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R3.12	2%	36%	2%	37%	15%	7%	0%
R4.1	1%	31%	4%	38%	17%	8%	2%
R4.2	1%	33%	3%	34%	24%	3%	2%
R4.3	1%	35%	3%	35%	21%	5%	1%
R4.4	1%	33%	2%	37%	17%	7%	2%
R4.5	2%	29%	4%	39%	15%	9%	1%
R4.6	1%	34%	9%	36%	12%	6%	2%
R4.7	3%	32%	9%	36%	11%	6%	4%
R4.8	7%	24%	8%	39%	10%	6%	7%
R4.9	8%	23%	8%	42%	10%	6%	3%
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、本年1月にアンケート対象事業者の拡充及び一部入替を行いました。

○有効回答数：139客体

- 生産者・・・・・・・・・・29
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・25
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・28
- 小売業者／中食・外食業者・・・・43
- その他・・・・・・・・・・14

※「その他」は以下の業者です。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなるかと考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

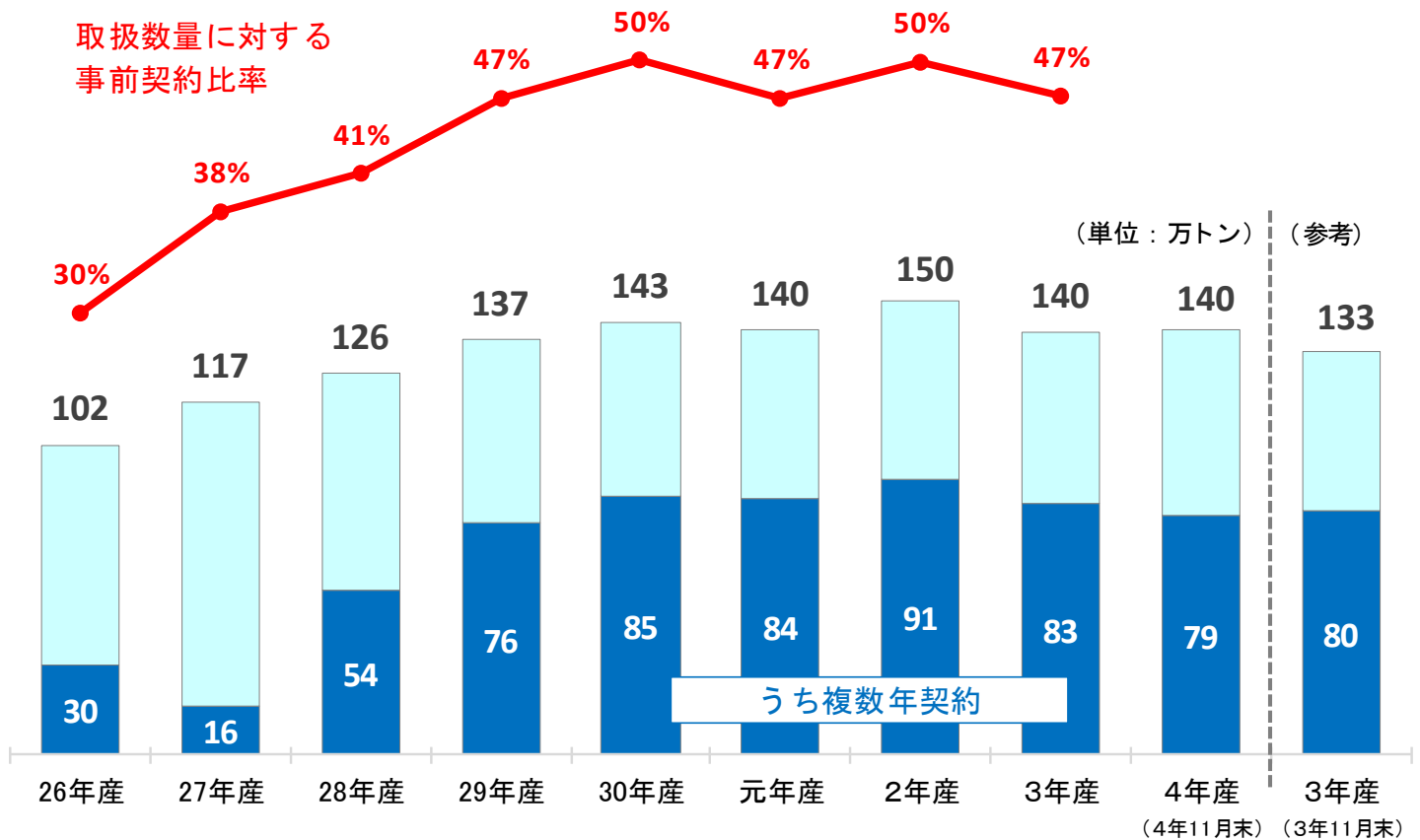
1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和4年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は年々増加していたが、平成30年産から令和3年産は、ほぼ横ばいで推移。

【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：3年産以前は確定値、4年産は速報値。

(2) 令和3・4年産米の産地別事前契約の取組状況（令和4年11月末現在）（速報）

- 令和4年産の令和4年11月末現在の事前契約数量は対前年同期差+7.4万トンの140.3万トンとなっている。

（単位：千玄米トン） （参考）

	3年産（4年10月末）		4年産（4年11月末）			3年産（3年11月末）	
	事前契約数量	うち複数年契約	事前契約数量 ①	前年 同月差 ①-②	うち 複数年 契約	事前契約 数量 ②	うち 複数年 契約
北海道	196.6	178.7	168.8	▲ 26.2	167.0	195.0	178.7
青森	69.3	30.4	62.8	▲ 1.4	29.7	64.2	30.4
岩手	51.0	43.4	70.4	▲ 19.4	50.4	51.0	43.4
宮城	106.4	102.7	114.2	▲ 6.3	93.6	107.9	100.0
秋田	195.4	142.2	180.6	▲ 14.9	127.2	195.5	141.7
山形	76.9	49.8	85.1	▲ 8.4	65.1	76.7	49.7
福島	56.0	41.8	32.7	▲ 19.3	28.8	52.0	37.9
茨城	17.6	-	26.2	▲ 8.6	1.0	17.6	-
栃木	66.7	66.7	63.1	▲ 0.0	63.1	63.1	63.1
群馬	3.7	1.1	5.5	▲ 1.8	1.0	3.7	1.1
埼玉	6.3	0.9	9.5	▲ 3.2	0.9	6.3	0.9
千葉	3.9	3.9	6.9	▲ 3.0	6.9	3.9	3.9
東京	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-
長野	33.3	31.4	35.0	▲ 5.3	31.0	29.7	27.8
静岡	1.7	-	1.7	▲ 0.0	-	1.7	-
新潟	184.9	95.0	191.2	▲ 27.4	84.3	163.8	88.5
富山	17.5	3.7	40.0	▲ 22.4	0.6	17.6	0.5
石川	15.8	1.7	16.1	▲ 4.6	-	11.5	0.2
福井	8.2	8.2	7.7	▲ 0.5	7.7	8.2	8.2
岐阜	8.6	2.4	12.2	▲ 3.6	4.6	8.6	2.4
愛知	15.6	2.3	15.6	▲ 0.6	2.3	15.0	1.7
三重	18.6	-	19.7	▲ 1.3	-	21.0	-
滋賀	36.8	15.5	36.9	▲ 1.1	8.4	35.8	16.0
京都	7.8	1.0	9.2	▲ 1.4	1.0	7.8	1.0
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	14.2	-	13.3	▲ 0.9	-	14.2	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	15.4	-	16.9	▲ 10.5	-	6.4	-
島根	28.4	0.2	24.7	▲ 2.7	3.0	27.4	0.2
岡山	-	-	-	-	-	-	-
広島	17.9	-	24.7	▲ 0.0	-	24.7	-
山口	18.5	-	18.3	▲ 0.0	-	18.3	-
徳島	2.2	-	2.2	▲ 0.0	-	2.2	-
香川	21.0	7.0	14.3	▲ 1.3	9.3	15.6	7.0
愛媛	5.0	-	5.3	▲ 5.3	-	-	-
高知	1.6	-	1.4	▲ 0.2	-	1.6	-
福岡	33.0	-	29.6	▲ 6.1	-	35.7	-
佐賀	28.8	-	26.2	▲ 11.6	-	14.6	-
長崎	7.3	-	7.2	▲ 0.1	-	7.3	-
熊本	-	-	-	-	-	-	-
大分	4.0	-	5.1	▲ 1.1	0.9	4.0	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,400	830	1,403	▲ 74	788	1,329	804

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」「米の農産物検査結果」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 令和4年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和4年11月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	販売数量 ③	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	238.3	198.2	55.1	80%	88%	92%
ななつぼし		110.3	107.5	26.4	74%	93%	91%
ゆめびりか		75.9	47.7	13.0	98%	80%	104%
きらら397		16.6	14.7	1.4	53%	82%	66%
青森	99	90.6	70.2	10.0	87%	98%	95%
まっしぐら		66.9	51.7	4.8	83%	96%	101%
つがるロマン		11.9	8.3	1.7	87%	86%	65%
岩手	99	85.2	76.5	8.5	83%	135%	92%
ひとめぼれ		64.2	59.4	5.5	82%	132%	84%
あきたこまち		9.6	6.6	0.9	76%	186%	165%
銀河のしずく		6.2	6.2	1.2	97%	135%	112%
宮城	100	113.0	119.5	11.0	85%	102%	88%
ひとめぼれ		83.0	92.8	6.9	85%	100%	83%
つや姫		12.4	12.0	1.4	95%	110%	88%
ササニシキ		7.0	8.3	1.1	91%	114%	114%
秋田	95	210.9	194.6	29.3	87%	95%	106%
あきたこまち		183.2	164.6	25.1	89%	94%	101%
めんこいな		5.9	5.7	0.4	64%	82%	128%
ひとめぼれ		10.1	16.0	0.9	81%	106%	129%
山形	99	146.8	97.9	17.7	89%	104%	103%
はえぬき		77.3	46.4	5.5	85%	109%	101%
つや姫		32.2	25.0	6.6	101%	98%	105%
雪若丸		18.1	12.7	2.2	100%	105%	113%
福島	100	98.1	41.8	8.1	90%	64%	73%
コシヒカリ中通り		34.6	9.4	2.0	93%	76%	53%
コシヒカリ会津		21.1	10.4	1.2	88%	38%	78%
コシヒカリ浜通り		3.3	3.6	0.2	92%	97%	78%
ひとめぼれ		18.5	6.5	2.3	90%	62%	95%
天のつぶ		8.6	8.2	0.9	64%	103%	40%
茨城	101	59.7	46.1	9.3	85%	137%	74%
コシヒカリ		43.4	30.9	5.1	86%	151%	73%
あきたこまち		7.3	9.0	3.3	76%	103%	74%
ふくまる		2.3	2.3	0.2
栃木	97	94.3	67.7	4.3	85%	100%	94%
コシヒカリ		76.0	54.7	3.2	95%	100%	95%
とちぎの星		8.9	7.2	0.4	51%	110%	103%
あさひの夢		3.2	2.8	0.1	54%	96%	58%
群馬	101	8.4	5.8	0.0	105%	154%	23%
あさひの夢		5.7	5.1	-	103%	138%	...
ゆめまつり		1.5	0.7	0.0	105%	2088%	12%
埼玉	101	16.5	11.2	1.5	85%	165%	88%
彩のかがやき		5.7	4.3	0.4	92%	133%	76%
彩のきずな		5.0	4.4	0.6	80%	219%	98%
コシヒカリ		3.7	2.3	0.4	76%	169%	100%
千葉	100	43.2	31.5	19.2	87%	108%	89%
コシヒカリ		22.4	16.6	8.4	91%	106%	84%
ふさこがね		7.1	4.8	2.9	69%	82%	65%
ふさおとめ		9.0	6.9	5.7	86%	123%	107%
東京	102	-	-	-
神奈川	101	2.2	0.4	0.4	112%	79%	79%
山梨	97	4.0	0.7	0.7	109%	111%	111%
コシヒカリ		3.4	0.6	0.6	109%	101%	101%
長野	98	58.5	41.6	6.2	95%	126%	96%
コシヒカリ		46.9	33.2	4.6	95%	132%	94%
あきたこまち		5.8	4.7	0.6	94%	108%	82%
静岡	98	8.5	1.7	1.1	102%	98%	77%
コシヒカリ		4.4	1.4	0.9	89%	99%	80%
きぬむすめ		1.7	0.1	0.0	112%	80%	28%
あいちのかおり		1.0	0.1	0.1	110%	92%	92%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
		①	②	③			
新潟	99	266.8	221.3	46.5	106%	118%	107%
コシヒカリ一般		138.5	117.1	21.2	112%	130%	121%
コシヒカリ魚沼		28.9	19.9	5.9	101%	96%	79%
コシヒカリ佐渡		14.5	12.9	2.6	105%	105%	95%
コシヒカリ岩船		10.3	9.9	1.7	94%	100%	85%
こしいぶき		35.8	29.3	6.1	94%	107%	102%
富山	101	78.7	53.4	11.7	95%	118%	92%
コシヒカリ		56.7	40.4	8.7	97%	112%	93%
てんたかく		7.2	4.7	1.4	92%	120%	78%
石川	101	32.0	17.4	3.1	90%	73%	74%
コシヒカリ		16.6	9.4	1.4	95%	83%	101%
ゆめみづほ		4.4	2.8	0.5	57%	51%	32%
福井	99	51.4	21.9	9.5	94%	106%	91%
コシヒカリ		20.6	8.8	3.5	102%	129%	93%
ハナエチゼン		14.5	6.2	3.4	86%	94%	101%
あきさかり		5.2	1.7	0.5	103%	108%	83%
岐阜	100	13.3	15.4	2.6	99%	132%	95%
ハツシモ		5.7	7.3	0.6	102%	105%	120%
コシヒカリ		4.0	3.2	0.9	93%	115%	88%
ほしじるし		0.4	2.2	0.0
愛知	100	29.7	29.7	6.1	96%	87%	97%
あいちのかおり		14.9	18.1	1.9	93%	94%	93%
コシヒカリ		9.2	8.3	2.4	93%	80%	98%
大地の風		0.9	1.2	0.1	91%	98%	79%
三重	102	25.8	22.4	5.7	103%	103%	106%
コシヒカリ一般		12.5	12.7	3.5	102%	105%	115%
コシヒカリ伊賀		6.9	5.1	1.2	108%	102%	101%
キヌヒカリ		1.5	1.3	0.2	83%	103%	110%
滋賀	101	39.9	43.6	8.7	91%	107%	89%
コシヒカリ		12.7	16.7	2.8	87%	111%	72%
キヌヒカリ		6.9	7.2	1.1	88%	109%	101%
みずかがみ		9.1	8.8	3.2	97%	105%	113%
京都	101	7.2	9.5	1.7	103%	114%	119%
コシヒカリ		4.2	5.6	1.1	100%	106%	97%
キヌヒカリ		1.2	1.5	0.3	83%	85%	171%
ヒノヒカリ		0.6	1.0	0.1	140%	95%	354%
大阪	102	-	-	-
兵庫	102	40.1	27.6	7.2	145%	101%	96%
コシヒカリ		14.1	8.7	2.6	120%	109%	102%
ヒノヒカリ		4.4	2.6	0.3	230%	102%	60%
キヌヒカリ		4.5	2.0	0.6	112%	108%	78%
奈良	102	10.4	0.8	0.8	119%	101%	101%
ヒノヒカリ		8.7	0.6	0.6	118%	113%	113%
和歌山	105	1.7	1.7	1.7	223%	223%	695%
鳥取	100	17.4	17.3	2.6	90%	196%	101%
きぬむすめ		5.1	4.9	0.3	83%	240%	181%
コシヒカリ		5.5	5.3	0.9	100%	273%	106%
ひとめぼれ		2.8	3.5	0.8	85%	155%	113%
島根	101	26.2	24.8	4.1	100%	89%	85%
きぬむすめ		10.7	9.7	1.1	106%	84%	78%
コシヒカリ		10.3	10.0	2.1	97%	92%	91%
つや姫		3.8	3.7	0.5	111%	95%	73%
岡山	99	35.1	10.3	4.1	96%	70%	95%
アケボノ		4.8	1.0	0.2	83%	42%	99%
きぬむすめ		6.7	1.6	0.4	105%	71%	92%
コシヒカリ		7.1	2.3	1.6	110%	70%	84%
広島	101	31.6	29.9	4.2	107%	95%	92%
コシヒカリ		12.4	14.7	1.9	106%	101%	88%
あきさかり		7.0	7.6	0.6	98%	106%	81%
あきろまん		2.9	2.2	0.2	101%	105%	90%

注:本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量	契約数量	販売数量	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
					集荷数量	契約数量	販売数量
		①	②	③			
山口	105	31.5	19.0	2.3	97%	88%	48%
コシヒカリ		7.8	6.3	1.2	102%	101%	77%
ひとめぼれ		8.2	3.7	0.4	107%	86%	56%
ヒノヒカリ		5.1	2.8	0.2	87%	100%	67%
徳島	102	5.7	3.5	1.5	98%	93%	87%
コシヒカリ		2.3	1.5	0.9	103%	93%	92%
あきさかり		2.8	1.6	0.3	94%	100%	69%
香川	103	14.5	14.3	1.9	75%	92%	100%
コシヒカリ		5.7	5.9	1.1	95%	101%	105%
ヒノヒカリ		4.9	4.5	0.4	93%	87%	77%
おいでまい		3.4	3.0	0.3	94%	112%	93%
愛媛	104	12.3	7.4	1.9	119%	336%	87%
コシヒカリ		4.2	3.2	1.0	117%	273%	85%
ヒノヒカリ		2.1	1.1	0.2	111%	473%	79%
あきたこまち		1.4	0.7	0.2	126%	313%	89%
高知	100	9.5	4.6	4.6	95%	87%	87%
コシヒカリ		6.5	3.6	3.6	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		1.3	0.3	0.3	93%	65%	65%
福岡	100	33.4	34.0	5.2	116%	82%	86%
夢つくし		15.2	10.7	2.2	124%	79%	77%
ヒノヒカリ		4.8	9.7	0.9	87%	85%	108%
元気つくし		10.9	10.3	1.4	131%	83%	91%
佐賀	98	24.3	27.2	3.7	91%	160%	88%
さがびより		7.3	11.7	0.7	104%	256%	80%
夢しずく		9.4	9.3	1.3	97%	141%	86%
ヒノヒカリ		4.7	4.9	0.3	71%	124%	80%
長崎	95	6.2	7.4	0.9	90%	100%	84%
にこまる		1.9	3.2	0.2	84%	97%	119%
ヒノヒカリ		1.2	1.1	0.1	90%	63%	91%
なつほのか		1.4	1.9	0.1
熊本	96	20.1	4.1	4.1	91%	89%	89%
ヒノヒカリ		7.4	0.7	0.7	86%	54%	54%
森のくまさん		1.9	1.2	1.2	86%	283%	283%
コシヒカリ		5.2	1.5	1.5	83%	72%	72%
大分	99	11.3	6.7	1.2	93%	89%	88%
ヒノヒカリ		6.0	3.1	0.4	86%	80%	76%
ひとめぼれ		0.7	0.4	0.1	40%	27%	49%
つや姫		2.0	1.7	0.4	99%	113%	92%
宮崎	98	9.2	9.2	7.8	94%	130%	111%
コシヒカリ		5.6	5.6	5.6	96%	97%	97%
ヒノヒカリ		2.1	2.1	0.8	66%	303%	117%
鹿児島	98	8.0	8.0	6.7	104%	128%	108%
ヒノヒカリ		2.2	2.2	1.1	115%	186%	96%
あきほなみ		0.5	0.5	0.3	149%	448%	257%
コシヒカリ		2.8	2.8	2.8	88%	89%	89%
沖縄	101	1.2	1.2	1.0	97%	97%	94%
全国①	100	2,221	1,744	390	92%	103%	96%
参考	前年同月(3年産)②	2,418	1,699	406			
	前年同月差(①-②)	▲ 197	+ 45	▲ 16			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考:前年同月比」で、令和4年産又は令和3年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

4 消費の動向

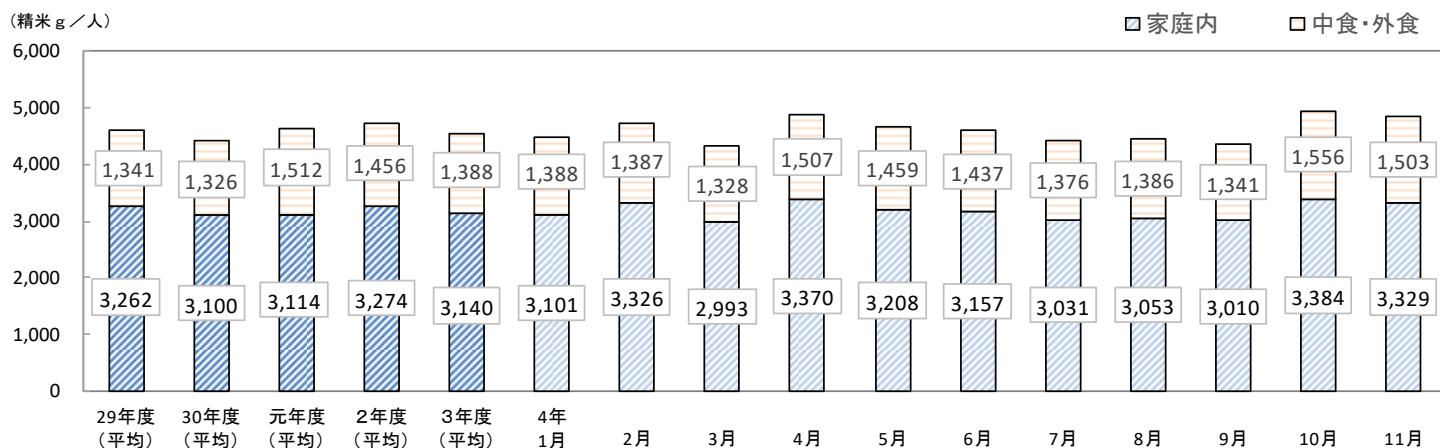
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和4年11月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比+1.0%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲0.5%、中食・外食では+4.6%。

(1) 1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計					合計					合計				
	家庭内	中・外食		中食	外食	家庭内	中・外食		中食	外食	家庭内	中・外食		中食	外食
平成29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
令和4年 1月	4,489	3,101	1,388	910	478	100.0	69.1	30.9	20.3	10.6	▲3.0	▲3.3	▲2.3	▲4.3	1.7
2月	4,713	3,326	1,387	880	507	100.0	70.6	29.4	18.7	10.8	0.1	▲0.6	1.7	▲0.2	5.2
3月	4,321	2,993	1,328	832	497	100.0	69.3	30.7	19.3	11.5	▲3.0	▲2.8	▲3.3	▲4.9	▲0.4
4月	4,877	3,370	1,507	962	545	100.0	69.1	30.9	19.7	11.2	0.7	▲1.0	4.8	▲0.8	16.5
5月	4,667	3,208	1,459	931	528	100.0	68.7	31.3	19.9	11.3	3.0	1.7	6.0	0.4	17.6
6月	4,594	3,157	1,437	911	526	100.0	68.7	31.3	19.8	11.4	0.8	▲0.8	4.7	0.9	12.2
7月	4,407	3,031	1,376	892	484	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.5	1.4	1.7	0.8
8月	4,439	3,053	1,386	874	512	100.0	68.8	31.2	19.7	11.5	2.8	2.4	3.7	▲3.9	19.9
9月	4,351	3,010	1,341	828	513	100.0	69.2	30.8	19.0	11.8	0.7	0.6	0.8	▲7.7	18.5
10月	4,940	3,384	1,556	1,010	547	100.0	68.5	31.5	20.4	11.1	3.9	3.0	6.1	7.3	4.0
11月	4,832	3,329	1,503	949	554	100.0	68.9	31.1	19.6	11.5	1.0	▲0.5	4.6	3.3	6.9

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和4年11月分の有効調査世帯数は1,968世帯。

注2：平成29～令和3年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行ってないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成29～令和3年度はH27国勢調査、令和4年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「インターネットショップ」が最も高く、次いで、「米穀専門店」、「デパート」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和4年11月の家庭内の月末在庫数量は、6.8kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5	-
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	-
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	-
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年1月	2.0	51.8	6.5	2.6	0.3	5.5	0.7	2.1	1.4	5.3	7.1	16.3	4.7	1,125
2月	1.7	50.4	7.6	3.0	0.2	5.8	1.2	2.1	1.0	7.3	8.3	13.4	5.1	1,027
3月	1.3	50.7	5.9	5.1	0.3	5.4	0.9	2.0	1.0	5.7	9.9	12.3	4.3	1,043
4月	1.3	51.2	5.3	4.4	0.4	4.6	0.9	2.4	1.1	5.3	9.1	14.5	4.9	1,147
5月	1.5	52.5	6.5	3.7	0.2	6.0	1.3	1.8	1.0	4.4	8.8	14.7	3.1	1,097
6月	1.2	52.2	5.6	3.7	0.3	6.0	1.4	2.2	0.7	4.2	10.1	13.7	4.6	1,043
7月	1.7	49.8	6.8	4.6	0.4	5.9	1.0	1.8	1.3	4.6	8.2	14.3	5.2	1,063
8月	1.4	52.0	5.7	4.1	0.1	6.3	1.2	2.1	1.0	4.5	8.9	12.8	4.9	1,022
9月	1.2	51.0	4.3	4.7	0.1	5.8	0.6	1.9	2.1	3.7	7.6	18.1	3.3	998
10月	0.8	48.0	4.7	5.2	0.5	6.6	1.0	2.6	1.9	5.5	8.2	18.2	4.5	1,226
11月	1.1	47.6	4.5	4.9	0.5	5.8	0.7	2.2	2.0	5.1	9.6	18.4	5.4	1,217

注：平成29～令和3年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年1月	455	363	321	304	※428	455	※332	505	435	343	441	1,761
2月	443	369	347	274	※791	400	387	443	371	366	454	1,697
3月	609	384	333	275	※427	390	※520	400	391	331	407	1,630
4月	355	353	322	373	※424	458	※346	427	717	309	453	2,097
5月	579	375	338	275	※406	381	386	535	452	389	386	1,952
6月	607	365	345	310	※451	375	373	486	※383	388	420	1,842
7月	375	356	315	298	※374	380	402	447	394	345	481	1,752
8月	395	345	327	276	※403	359	415	397	336	387	398	1,688
9月	561	368	337	286	※310	421	※344	447	433	306	386	1,626
10月	※401	373	321	300	※428	429	482	470	471	322	448	2,110
11月	416	385	322	301	※515	372	※333	438	383	337	475	1,968

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和元～3年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8					6.5	1.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22					2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成29～令和3年度はH27国勢調査、令和4年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

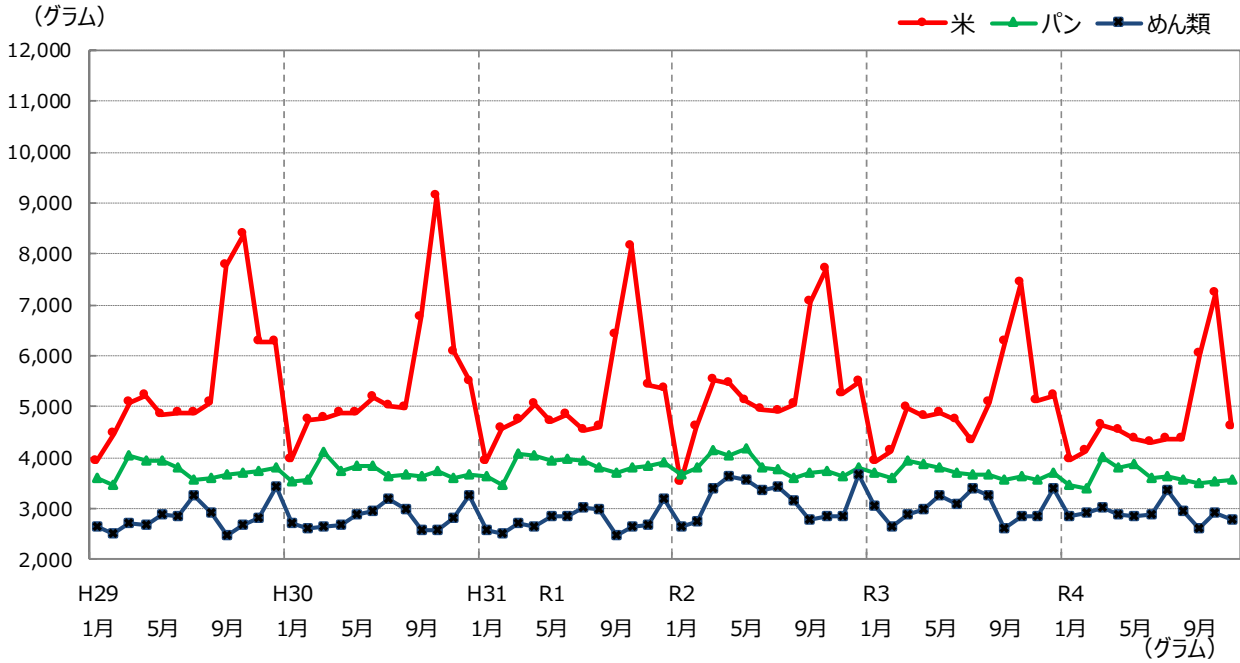
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和4年11月の米の購入数量は、対前年同月比▲10.4%の4.6kg、パンは+0.1%の3.6kg、めん類は▲2.2%の2.8kg。

1世帯当たり1か月間の購入数量の推移

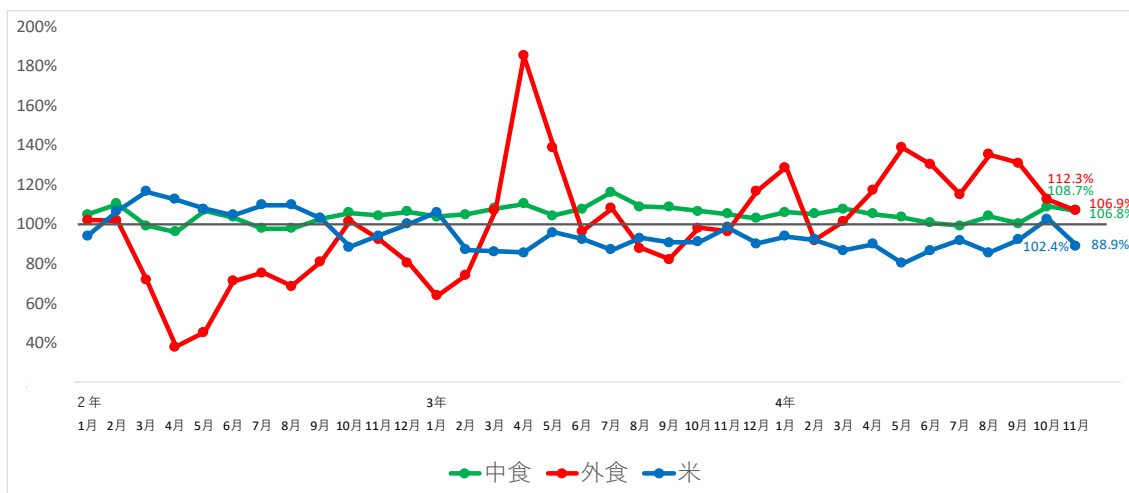


	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
令和4年 1月	3,950	100.8%	3,478	93.9%	2,851	93.5%
2月	4,140	100.5%	3,409	95.0%	2,924	111.1%
3月	4,650	93.2%	4,005	101.3%	3,012	104.0%
4月	4,540	94.4%	3,794	97.7%	2,871	95.8%
5月	4,380	89.8%	3,880	102.4%	2,860	88.2%
6月	4,280	90.5%	3,615	97.8%	2,889	93.9%
7月	4,350	100.7%	3,635	99.5%	3,375	99.7%
8月	4,350	85.5%	3,568	97.3%	2,967	91.3%
9月	6,030	96.3%	3,482	98.1%	2,610	100.3%
10月	7,240	97.6%	3,537	97.7%	2,902	102.1%
11月	4,590	89.6%	3,576	100.1%	2,797	97.8%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和4年11月の中食の支出金額は、対前年同月比+6.8%、外食は+6.9%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食				弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	種類	他の穀類						
2年1月	98.8%	94.1%	99.3%	102.9%	100.2%	104.9%	102.0%	105.9%	116.7%	102.6%	104.2%
2年2月	107.0%	106.5%	102.9%	114.1%	113.8%	110.1%	113.0%	106.8%	112.4%	107.3%	111.7%
3年1月	107.3%	105.8%	101.2%	116.5%	119.3%	103.7%	109.3%	99.1%	86.0%	98.6%	110.2%
4年11月	101.5%	88.9%	107.7%	105.1%	105.6%	106.8%	106.7%	101.2%	112.6%	105.5%	109.7%

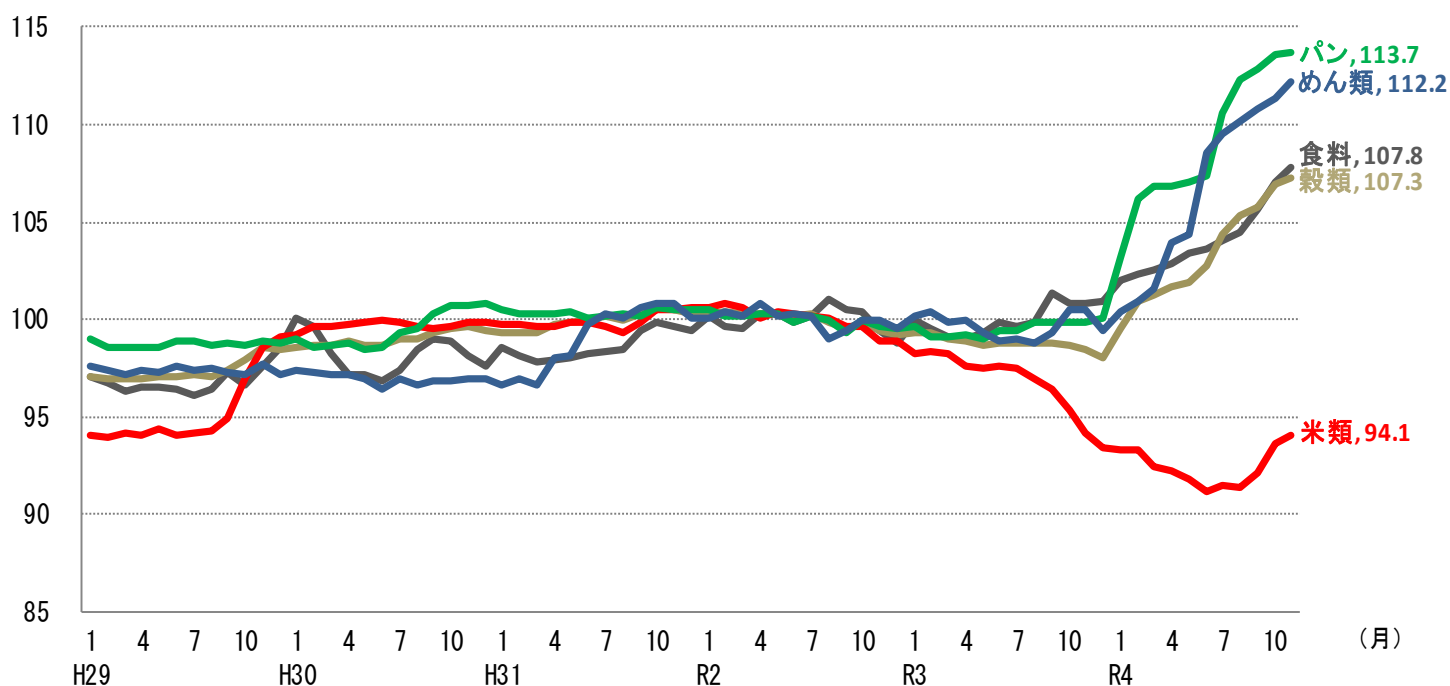
	外食	中食									
		日本そば・うどん	中華そば	他の種類外食	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食
2年1月	101.9%	112.3%	99.5%	88.1%	96.7%	100.6%	99.8%	93.2%	111.4%	102.3%	105.5%
3年1月	63.8%	58.4%	64.4%	69.9%	80.4%	63.2%	58.7%	55.1%	54.9%	122.7%	57.1%
4年11月	112.3%	116.2%	129.9%	116.3%	107.5%	122.4%	112.7%	106.8%	105.9%	104.6%	109.6%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和4年11月の米類の指数は対前年同月比 ▲0.1%の94.1ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成29年(平均)	96.8	0.6%	97.4	1.5%	95.2	4.7%	96.0	3.2%	98.8	0.4%	97.4	▲0.6%
30年(平均)	98.2	1.4%	99.0	1.6%	99.7	4.7%	99.2	3.3%	99.5	0.7%	96.9	▲0.5%
令和元年(平均)	98.7	0.5%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.8%	99.1	2.3%
2年(平均)	100.0	1.3%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	0.9%
3年(平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
令和4年 1月	102.0	2.0%	99.5	0.2%	93.3	▲5.0%	93.8	▲4.4%	103.2	3.6%	100.4	0.2%
2月	102.3	2.8%	100.9	1.6%	93.3	▲5.1%	93.5	▲4.8%	106.2	7.2%	100.9	0.5%
3月	102.5	3.4%	101.2	2.2%	92.4	▲5.9%	93.9	▲4.8%	106.8	7.8%	101.6	1.8%
4月	102.9	3.9%	101.7	2.8%	92.2	▲5.5%	93.1	▲4.8%	106.8	7.7%	103.9	3.9%
5月	103.4	4.1%	101.9	3.2%	91.8	▲5.8%	92.5	▲5.3%	107.1	8.2%	104.4	5.1%
6月	103.6	3.7%	102.7	3.9%	91.1	▲6.7%	92.4	▲5.3%	107.4	8.0%	108.5	9.7%
7月	104.0	4.4%	104.4	5.7%	91.5	▲6.2%	92.2	▲5.2%	110.6	11.3%	109.5	10.6%
8月	104.5	4.6%	105.3	6.6%	91.4	▲5.7%	92.4	▲4.0%	112.3	12.4%	110.2	11.5%
9月	105.6	4.1%	105.8	7.1%	92.1	▲4.5%	93.2	▲2.8%	112.9	13.0%	110.8	11.6%
10月	107.1	6.3%	106.9	8.3%	93.6	▲1.8%	93.2	▲1.8%	113.6	13.7%	111.3	10.7%
11月	107.8	6.9%	107.3	8.9%	94.1	▲0.1%	94.5	0.1%	113.7	13.8%	112.2	11.6%

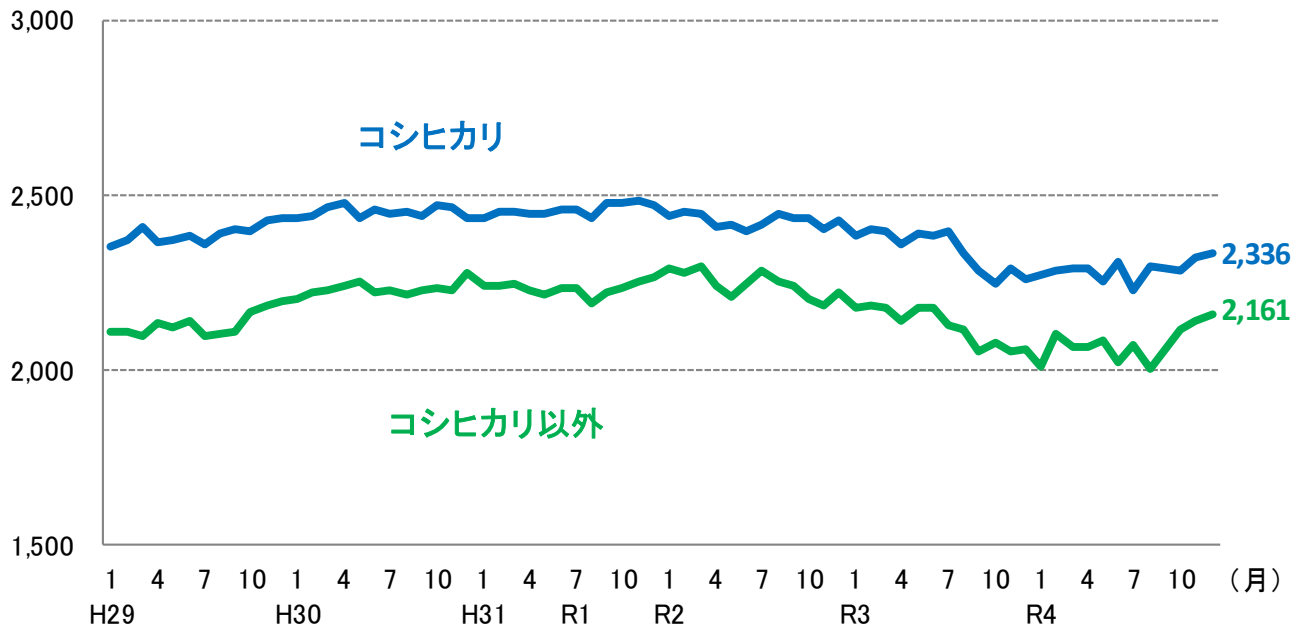
資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 注3：平成27年～令和3年のデータは年平均、4年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和4年12月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+3.5%の2,336円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+5.0%の2,161円。

（円/5kg、包装・消費税込み）



（円/5kg、包装・消費税込み）

年平均	H29	H30	R1	R2	R3
コシヒカリ	2,388	2,451	2,457	2,426	2,344
前年比	1.4%	2.6%	0.2%	▲1.3%	▲3.4%
コシヒカリ以外	2,132	2,232	2,234	2,246	2,127
前年比	5.6%	4.7%	0.1%	0.5%	▲5.3%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417	2,448	2,431	2,434	2,405	2,428
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%	0.7%	▲1.8%	▲1.6%	▲3.1%	▲1.8%
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284	2,255	2,241	2,205	2,184	2,224
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%	2.9%	0.8%	▲1.3%	▲3.0%	▲1.9%

月次(令和3年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,382	2,405	2,397	2,358	2,391	2,385	2,398	2,335	2,287	2,248	2,288	2,257
前年同月比	▲2.3%	▲2.0%	▲1.9%	▲2.0%	▲1.0%	▲0.4%	▲0.8%	▲4.6%	▲5.9%	▲7.6%	▲4.9%	▲7.0%
コシヒカリ以外	2,181	2,182	2,176	2,142	2,179	2,175	2,131	2,115	2,055	2,077	2,053	2,059
前年同月比	▲4.7%	▲4.3%	▲5.2%	▲4.4%	▲1.4%	▲3.3%	▲6.7%	▲6.2%	▲8.3%	▲5.8%	▲6.0%	▲7.4%

月次(令和4年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

- 米穀販売事業者における令和4年11月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向け、中食・外食事業者等向け、全体のいずれも100%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年11月の販売数量と比較すると97%となる。
- 前年同月を基準にした令和4年11月の販売価格の値動きは、小売事業者向け101.4、中食・外食事業者等向け94.3。

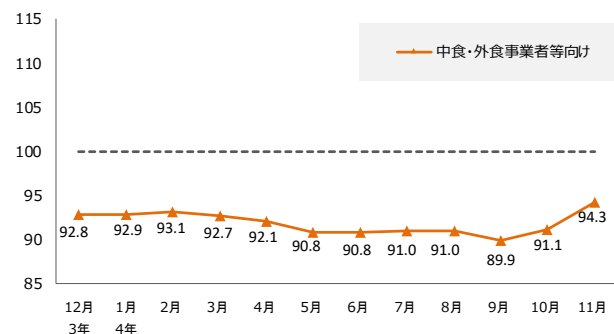
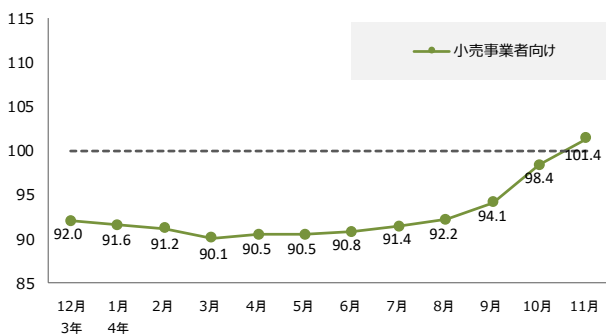
1 販売数量の動向（前年同月比）

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月 ～12月計
小売事業者向け	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%	99%	96%	98%	95%	97%
(※令和元年との比較)	(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)	(101%)	(99%)	(99%)	(102%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	87%	88%	103%	121%	115%	104%	106%	100%	102%	100%	103%	103%	102%
(※令和元年との比較)	(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)	(90%)	(92%)	(94%)	(95%)	(90%)
販売数量計	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%	100%	98%	100%	98%	99%
(※令和元年との比較)	(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)	(96%)	(95%)	(97%)	(99%)	(97%)

	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月 ～12月計
小売事業者向け	97%	95%	99%	99%	97%	100%	96%	98%	97%	98%	100%		
(※令和元年との比較)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)	(98%)	(104%)	(98%)	(97%)	(99%)		
中食・外食事業者等向け	105%	101%	101%	103%	106%	104%	101%	109%	109%	104%	100%		
(※令和元年との比較)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)	(92%)	(93%)	(98%)	(95%)	(94%)		
販売数量計	101%	98%	100%	101%	101%	102%	98%	103%	102%	101%	100%		
(※令和元年との比較)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)	(95%)	(98%)	(98%)	(96%)	(97%)		

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（5月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

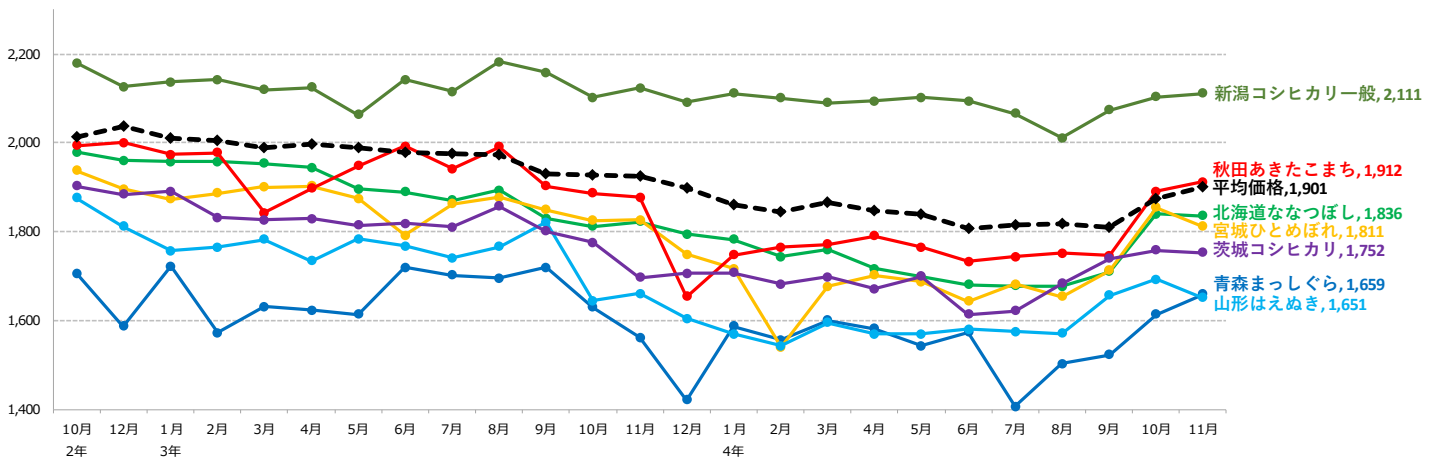
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和4年11月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+26円(+1.4%)、対前年同月差▲23円(▲1.2%)の1,901円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

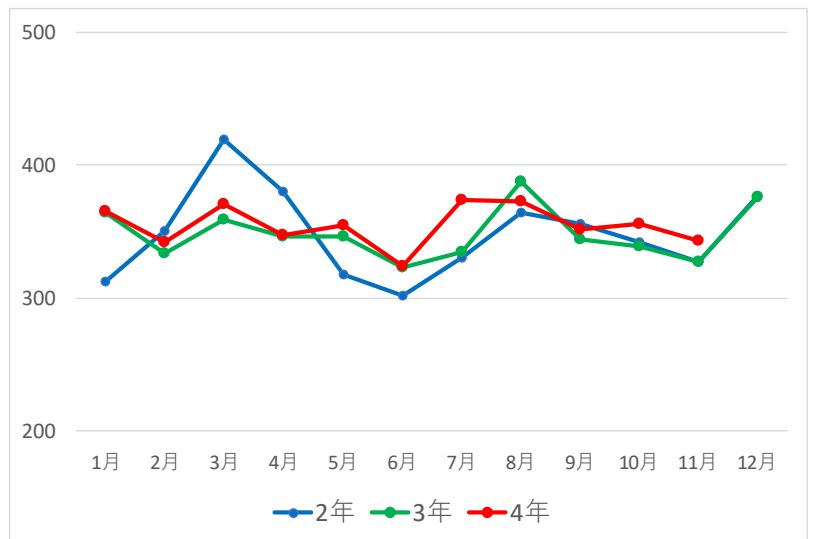
- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位:精米トン、%)

	2年	3年 ①	4年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	313	365	366	100%
2月	351	334	342	102%
3月	420	359	371	103%
4月	380	347	348	100%
5月	318	346	355	103%
6月	302	323	324	100%
7月	331	335	374	112%
8月	365	388	373	96%
9月	356	344	352	102%
10月	342	339	356	105%
11月	327	327	343	105%
12月	377	376		

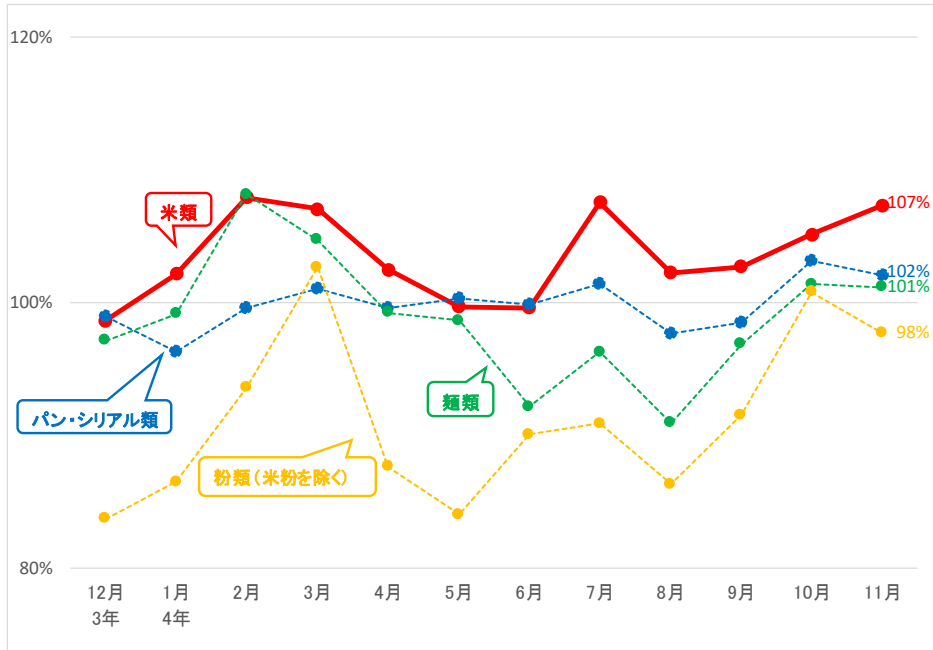
(単位:精米トン)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	3年 12月	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
米類	米類		99%	102%	108%	107%	102%	100%	100%	108%	102%	103%	105%	107%
	米	精米、玄米、もち米	99%	100%	103%	101%	99%	95%	94%	98%	93%	98%	105%	105%
	包装餅	切り餅、板餅	98%	101%	117%	103%	100%	99%	111%	103%	99%	98%	112%	104%
	米飯加工品		99%	103%	107%	115%	111%	111%	109%	122%	118%	112%	112%	118%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるおかゆ、雑炊、リゾット	101%	109%	126%	128%	128%	120%	112%	141%	146%	124%	118%	138%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌包装したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	98%	102%	100%	111%	104%	105%	104%	113%	104%	109%	111%	111%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから炊飯したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	98%	98%	107%	114%	115%	119%	117%	126%	122%	109%	107%	115%
	冷凍米飯加工品		100%	101%	109%	116%	108%	106%	108%	109%	106%	105%	105%	110%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、ドライカレー などの米飯群	99%	102%	111%	117%	107%	105%	108%	108%	104%	103%	103%	108%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	92%	91%	93%	102%	99%	94%	95%	100%	104%	103%	101%	107%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご飯、オムライス、カレーライス	112%	108%	111%	130%	123%	131%	127%	130%	121%	116%	108%	112%
	惣菜		98%	101%	106%	115%	117%	121%	126%	128%	129%	137%	140%	152%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりとおかずがセットになった弁当	97%	100%	103%	115%	113%	117%	119%	125%	127%	138%	142%	151%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、鮎六寿司、細巻き、太巻き、悪坊巻き	94%	99%	113%	105%	114%	124%	132%	140%	138%	150%	140%	145%
弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅弁、オムライス、炒飯	101%	101%	100%	120%	129%	126%	140%	125%	128%	121%	134%	162%	
パン・シリアル類	パン・シリアル類		99%	96%	100%	101%	100%	100%	100%	101%	98%	99%	103%	102%
	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	98%	95%	99%	100%	98%	99%	101%	103%	97%	100%	106%	106%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	98%	95%	100%	102%	100%	101%	102%	101%	98%	100%	104%	101%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	105%	100%	100%	98%	100%	101%	94%	100%	97%	93%	98%	99%
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	106%	108%	108%	102%	97%	92%	82%	94%	92%	90%	95%	94%
麺類	麺類		97%	99%	108%	105%	99%	99%	92%	96%	91%	97%	101%	101%
	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	94%	94%	111%	106%	102%	98%	88%	92%	91%	98%	104%	103%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	97%	102%	109%	105%	99%	101%	88%	92%	89%	98%	99%	99%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば、焼きそば	98%	97%	106%	104%	100%	98%	95%	98%	91%	93%	102%	101%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	87%	89%	103%	102%	91%	91%	96%	103%	93%	94%	99%	104%
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	98%	102%	108%	106%	97%	95%	99%	103%	98%	101%	105%	105%
粉類(米粉を除く)	粉類(米粉を除く)		84%	86%	94%	103%	88%	84%	90%	91%	86%	92%	101%	98%
	小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	90%	91%	97%	118%	94%	86%	90%	90%	88%	88%	91%	93%
	パン粉	パン粉、生パン粉	89%	90%	92%	97%	89%	89%	90%	91%	87%	92%	97%	98%
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	76%	82%	92%	97%	83%	80%	90%	91%	85%	93%	111%	101%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	94%	93%	98%	96%	96%	95%	95%	98%	94%	95%	99%	97%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	92%	91%	99%	102%	101%	93%	110%	108%	103%	101%	109%	105%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	93%	93%	102%	95%	88%	84%	89%	88%	88%	92%	103%	106%
	清酒		95%	95%	98%	100%	97%	94%	98%	98%	98%	99%	101%	97%
	焼酎乙類		95%	95%	98%	100%	98%	95%	98%	101%	98%	103%	98%	96%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2021年のコメ・コメ加工品の輸出額は524億円（対前年比51%増）となった。

うちコメの輸出実績は対前年比+12%の約59億円、米菓は+24%の約56億円、日本酒は+66%の約402億円、パックご飯は-10%の約6億円、米粉及び米粉製品は-23%の約0.6億円。

品目名		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		(参考) 主な輸出先国
						1~11月	対前年比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	32,226トン	35,531トン	36,569トン	45,959トン	48,914トン	+18%	香港 アメリカ 中国 台湾 シンガポール
	金額	309億円	329億円	347億円	524億円	557億円	+19%	
コメ (援助米を除く)	数量	13,794トン	17,381トン	19,781トン	22,833トン	25,963トン	+27%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
	金額	38億円	46億円	53億円	59億円	66億円	+25%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,053トン	4,033トン	4,222トン	5,141トン	3,978トン	-15%	アメリカ 台湾 香港 サウジアラビア シンガポール
	原料米換算	3,445トン	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,381トン	-15%	
	金額	44億円	43億円	45億円	56億円	48億円	-6%	
日本酒 (清酒)	数量	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	32,052 キロリットル	33,200 キロリットル	+15%	中国 アメリカ 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	14,502トン	14,041トン	12,257トン	18,054トン	18,700トン	+15%	
	金額	222億円	234億円	241億円	402億円	435億円	+21%	
パックご飯等	数量	923トン	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,251トン	+23%	アメリカ 香港 台湾 韓国 ベトナム
	原料米換算	485トン	535トン	634トン	594トン	657トン	+23%	
	金額	5億円	5億円	7億円	6億円	7億円	+33%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量		118トン	249トン	88トン	172トン	+99%	アメリカ ドイツ タイ 台湾 フランス
	原料米換算		146トン	308トン	108トン	213トン	+99%	
	金額		0.3億円	0.7億円	0.6億円	1.0億円	+73%	
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	14,279トン	18,062トン	20,723トン	23,535トン	26,833トン	+27%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
	金額	42億円	52億円	60億円	66億円	74億円	+26%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の商業用の米の輸出は、輸出数量が25,963トン（対前年同期比+27%）、輸出金額が約66億円（対前年同期比+25%）と、数量及び金額ともに前年より増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	25,963 (+27%)	6,605 (+25%)
香港	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,054 (+12%)	2,140 (+11%)
シンガポール	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,281 (+16%)	1,102 (+18%)
アメリカ	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989	565	2,244	625	3,691 (+88%)	981 (+80%)
台湾	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,316 (+39%)	655 (+32%)
オーストラリア	476	145	635	197	770	233	1,074	334	893	283	1,145 (+43%)	357 (+41%)
中国	298	97	524	211	1,007	363	1,002	321	575	219	657 (+57%)	223 (+46%)
タイ	192	51	320	81	578	145	555	145	625	162	960 (+76%)	236 (+65%)
イギリス	695	191	422	121	450	131	451	131	332	104	455 (+43%)	138 (+39%)
ロシア	78	31	120	43	174	64	199	72	227	79	106 (-50%)	40 (-47%)
フランス	61	27	78	32	93	40	112	49	173	72	204 (+30%)	79 (+19%)
インドネシア	72	26	1	2	90	25	4	3	247	72	39 (-83%)	14 (-79%)
カナダ	92	28	138	43	158	51	205	62	210	69	309 (+63%)	87 (+39%)
ドイツ	62	26	92	36	140	52	144	58	185	68	210 (+14%)	72 (+5%)
フィンランド	2	1	47	11	183	40	188	44	216	57	190 (-12%)	45 (-20%)
ベトナム	101	33	118	37	213	65	159	46	167	48	192 (+43%)	47 (+23%)
マカオ	38	18	65	27	62	26	43	21	118	48	66 (-31%)	31 (-19%)
アラブ首長国連邦	18	9	37	17	55	23	58	25	96	45	115 (+47%)	44 (+36%)
マレーシア	259	62	221	51	234	59	185	46	146	43	205 (+101%)	59 (+110%)
オランダ	105	24	112	30	102	30	110	40	92	33	85 (-7%)	27 (-16%)
モンゴル	203	32	336	56	315	53	347	58	115	25	248 (+176%)	44 (+116%)
その他	171	70	222	110	200	91	278	94	355	164	435	183

(参考)EU ※	943	283	800	253	1,050	326	629	219	757	272	854 (+16%)	283 (+8%)
----------	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量1トン未満で輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

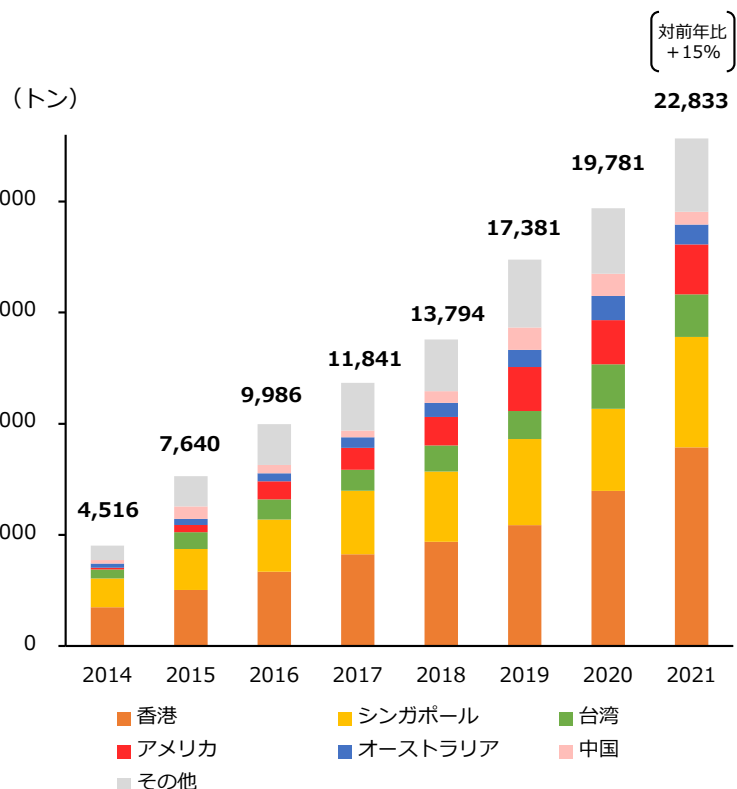
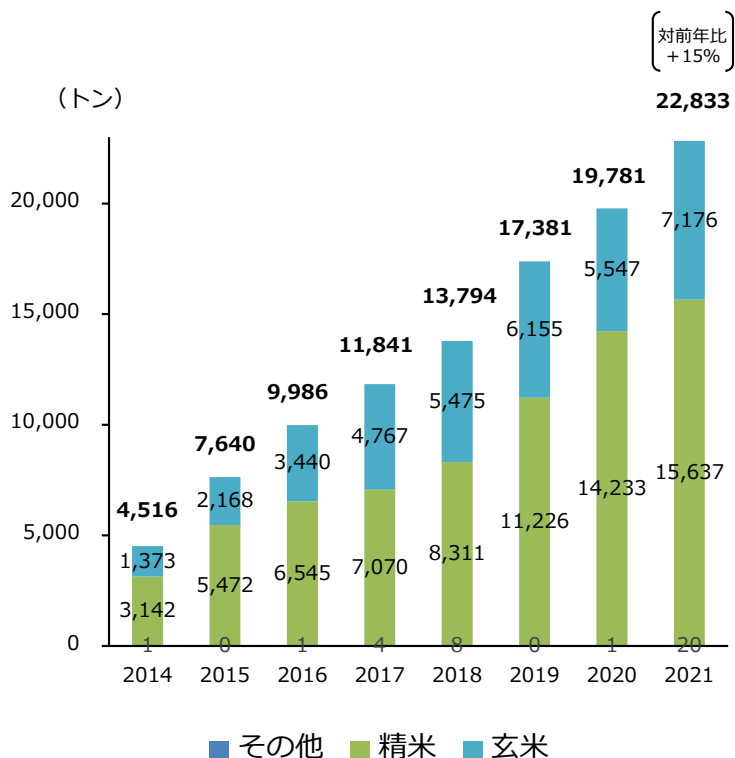
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(3) コメの輸出数量の2021年の主な増加要因

- 2021年はコンテナ不足等を要因として海上運賃が高騰しており、輸出に悪影響を与えているものの、コメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は22,833トン（前年比+15%）、輸出額は59億円（前年比+12%）に増加。
- 特に、香港・シンガポールでは、飲食店等の営業再開に伴い、日本食レストラン向け等の業務用需要が増加した。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移

② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香港 📍 8,938トン（前年比+28%） 2,118百万円（前年比+18%）

- 日本食レストラン等の営業再開に伴い、業務用需要が堅調であったことなどにより輸出が増加した。

シンガポール 📍 4,972トン（前年比+35%） 1,025百万円（前年比+31%）

- 香港同様、日本食レストラン等の営業再開に伴い、業務用需要が堅調であったことなどにより輸出が増加した。

アメリカ 📍 2,244トン（前年比+13%） 625百万円（前年比+11%）

- 飲食店等が営業再開しており、業務用需要が増加。また、競合となるカリフォルニア産米の価格が高騰しており、日本産米の需要が拡大している。
- 一方で、港湾のコンテナ滞留等の影響により海上運賃が高騰しており、需要はあるものの高騰した運賃との兼ね合いから商機を逃しているとの声も聞こえる。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の米菓の輸出は、輸出数量が3,978トン（対前年同期比-15%）、輸出金額が約48億円（対前年同期比-6%）と、数量及び金額ともに前年より減少。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	3,978 (-15%)	4,773 (-6%)
アメリカ	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,127 (-14%)	1,359 (+0%)
台湾	731	758	830	878	854	894	989	1,057	1,123	1,248	826 (-16%)	966 (-10%)
香港	520	660	629	744	603	724	629	749	718	863	463 (-28%)	603 (-22%)
中国	62	84	61	123	87	160	76	139	220	315	98 (-51%)	158 (-44%)
シンガポール	200	269	208	268	209	243	227	267	233	281	174 (-18%)	242 (-2%)
サウジアラビア	170	98	279	176	258	161	335	215	380	252	393 (+3%)	298 (+18%)
ベトナム	42	76	55	112	75	155	90	195	93	210	90 (+3%)	206 (+7%)
タイ	40	57	44	60	62	83	80	104	96	121	88 (-3%)	117 (+3%)
韓国	326	489	229	338	119	156	65	77	95	118	123 (+38%)	166 (+51%)
オーストラリア	173	144	121	106	127	111	108	96	135	118	149 (+24%)	124 (+17%)
オランダ	127	111	81	87	58	61	68	73	93	114	61 (-30%)	87 (-17%)
マレーシア	25	31	25	29	39	41	53	56	89	101	55 (-29%)	65 (-26%)
カナダ	31	37	31	37	35	42	35	41	40	52	36 (-3%)	47 (-0%)
北マリアナ諸島	22	28	20	25	19	25	18	25	25	37	17 (-27%)	28 (-18%)
グアム	16	21	19	23	19	24	21	27	22	34	16 (-21%)	26 (-16%)
フィリピン	19	19	23	22	27	27	26	27	33	33	17 (-48%)	21 (-34%)
ブルガリア	98	27	103	31	149	40	102	25	144	33	68 (-44%)	20 (-27%)
インドネシア	8	10	11	14	10	14	15	19	23	31	13 (-32%)	18 (-29%)
ブラジル	43	41	37	38	40	41	26	27	24	24	23 (+8%)	25 (+13%)
スイス	9	14	11	17	12	19	14	21	13	20	9 (-26%)	17 (-9%)
その他	118	151	126	163	131	164	112	148	131	172	131	182

(参考)EU ※	277	206	240	189	267	183	209	148	271	199	159 (-34%)	159 (-13%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の日本酒の輸出は、輸出数量が33,200キロリットル（対前年同期比+15%）、輸出金額が約435億円（対前年同期比+21%）と、数量及び金額ともに増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	33,200 (+15%)	43,489 (+21%)
中国	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	6,885 (+5%)	12,899 (+38%)
アメリカ	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	8,556 (+8%)	10,231 (+19%)
香港	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,454 (-15%)	6,474 (-21%)
シンガポール	530	691	610	837	609	857	688	1,113	919	1,802	848 (+5%)	2,090 (+33%)
台湾	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	2,805 (+21%)	1,971 (+33%)
韓国	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	3,642 (+71%)	2,245 (+71%)
オーストラリア	444	396	502	446	483	439	525	491	747	730	751 (+8%)	867 (+28%)
カナダ	711	486	684	529	715	548	549	429	750	676	954 (+34%)	1,096 (+74%)
マカオ	34	150	52	207	39	156	44	179	111	563	85 (-7%)	297 (-39%)
フランス	266	267	274	276	270	285	222	213	438	490	390 (-2%)	457 (+2%)
イギリス	388	348	298	324	352	373	220	215	397	444	445 (+20%)	548 (+35%)
マレーシア	289	265	283	244	253	242	309	278	334	334	553 (+73%)	593 (+88%)
ドイツ	368	167	367	203	477	242	402	207	623	318	639 (+14%)	339 (+15%)
ベトナム	376	267	462	440	437	376	342	279	328	298	631 (+128%)	640 (+156%)
オランダ	276	144	223	161	247	142	288	178	460	273	430 (-1%)	320 (+24%)
タイ	472	252	604	300	627	276	498	225	457	212	633 (+52%)	391 (+105%)
アラブ首長国連邦	46	46	54	59	52	55	41	38	107	175	148 (+61%)	239 (+62%)
イタリア	386	139	312	130	339	129	242	89	391	163	427 (+20%)	171 (+21%)
スペイン	154	110	153	98	130	75	81	49	195	154	262 (+63%)	162 (+19%)
ブラジル	219	109	207	93	248	119	146	76	272	152	320 (+33%)	167 (+29%)
その他	812	530	877	647	966	680	684	633	1,119	987	1,343	1,294

(参考)EU ※	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,483 (+18%)	1,766 (+23%)
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-----------------	-----------------

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：数量1リットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の包装米飯等の輸出は、輸出数量が1,251トン（対前年同期比+23%）、輸出金額が約7億円（対前年同期比+33%）と、数量及び金額ともに増加。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,251 (+23%)	713 (+33%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	447	169	454	177	489 (+24%)	229 (+52%)
香港	35	25	79	51	130	77	261	170	215	126	288 (+47%)	163 (+42%)
台湾	33	28	58	36	105	56	145	88	123	99	115 (-3%)	103 (+10%)
タイ	29	14	40	17	63	27	75	34	83	39	52 (-35%)	24 (-35%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	66	69	47	36	45 (+1%)	41 (+18%)
中国	8	6	20	14	96	42	68	43	44	27	50 (+17%)	26 (+2%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	43	24	48	26	58 (+31%)	34 (+43%)
韓国	67	33	149	72	31	17	20	11	52	25	90 (+125%)	41 (+110%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	10	6	12	7	9 (-20%)	6 (-14%)
メキシコ	6	3	5	3	5	3	7	5	7	4	1 (-81%)	1 (-79%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	10	5	8	4	5 (-37%)	3 (-17%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	5	2	7	3	7 (+15%)	4 (+84%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0	1	2	3	4 (+165%)	3 (+18%)
マレーシア	—	—	—	—	1	1	8	5	4	3	5 (+19%)	3 (-7%)
フランス	1	1	3	2	3	2	5	2	7	3	10 (+65%)	2 (+4%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	2	2	4	2	2 (-47%)	2 (-12%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	20	9	4	2	5 (+46%)	3 (+53%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	3	3	2	2	4 (+160%)	6 (+276%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	4	5	1	2	4 (+585%)	7 (+511%)
カンボジア	4	3	1	1	2	1	0	0	1	1	3 (+121%)	2 (+128%)
その他	12	4	12	5	2	2	7	7	6	3	6	9
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	14	9	13	8	21 (+71%)	15 (+104%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量0.5トン未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注4：金額0.5百万円未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注5：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。

(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の米粉の輸出は、輸出数量が144トン（対前年同期比+103%）、輸出金額が約66百万円（対前年同期比+82%）と、数量及び金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+103%)	65.7 (+82%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40 (-2%)	16.6 (+4%)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8 (-56%)	0.9 (-85%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5 (+150%)	7.3 (+78%)
ドイツ	11	3.4	-	-	6	2.7	42 (+600%)	15.9 (+497%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34 (注5)	12.5 (+532%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2 (+0%)	1.0 (-34%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2 (注5)	3.9 (+183%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2 (+0%)	1.7 (+49%)
フランス	-	-	0	0.4	0	0.8	1 (注5)	4.0 (+403%)
アラブ首長国連邦	-	-	-	-	1	0.2	0 (注4)	0.3 (注4)
ベトナム	0	0.3	-	-	-	-	- (注4)	- (注4)
スペイン	1	0.7	-	-	-	-	- (注4)	- (注4)
スウェーデン	-	-	-	-	-	-	8 (注4)	1.2 (注4)
カナダ	-	-	-	-	-	-	0 (注4)	0.2 (注4)
オーストラリア	-	-	-	-	-	-	0 (注4)	0.2 (注4)
(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59 (+146%)	22.0 (+122%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：数量1トン未満で、輸出実績がある場合は「0」と表記されている。

注4：対前年同期比を記載していないのは、2021年1月～11月の輸出実績が計上されていないため。

注5：対前年同期比を記載していないのは、2021年1月～11月の数量が1トン未満であるため。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(8) 米粉麵等の輸出数量及び金額の推移

2022年1～11月の米粉麵等の輸出は、輸出数量が約28トン（対前年同期比+80%）、輸出金額が約29百万円（対前年同期比+56%）と、数量及び金額ともに増加。

	2020年		2021年		2022年 (1～11月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.1 (+80%)	29.3 (+56%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.5 (+102%)	14.4 (+64%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2 (+18%)	2.9 (+18%)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5 (-78%)	0.6 (-72%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7 (-68%)	0.6 (-69%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6 (-64%)	0.6 (-62%)
中国	—	—	0.3	0.6	0.4 (+3%)	0.6 (+5%)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8 (+199%)	0.9 (+110%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0 (+418%)	1.3 (+311%)
タイ	—	—	0.2	0.2	— (-100%)	— (-100%)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2 (-24%)	0.3 (+28%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	— (注3)	— (注3)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	— (注3)	— (注3)
ドイツ	—	—	—	—	8.4 (注3)	5.8 (注3)
スイス	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.2 (注3)
イスラエル	—	—	—	—	0.5 (注3)	0.7 (注3)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2 (注3)	0.3 (注3)

資料: 財務省「貿易統計」

注1: ()内は対前年同期増減率である。

注2: 数量1kg未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3: 対前年同期比を記載していないのは、2021年1月～11月の輸出実績が計上されていないため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

<輸出産地数>

- ・ 30～40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）

<今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大口で輸出用米を生産・供給する産地

<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

(単位:千玄米トン)

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち一般輸入	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	-	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度 (12月末現在)	103	253	40	40	2	439	434	5

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

令和4年度(うるち)		参考: 令和3年度(うるち)	
令和4年4～6月分（長期契約）	14,233	令和3年4～6月分（長期契約）	18,874
4月分（月別契約）	244	4月分（月別契約）	424
5月分（月別契約）	743	5月分（月別契約）	134
6月分（月別契約）	375	6月分（月別契約）	286
令和4年4～6月小計	15,595	令和3年4～6月小計	19,718
7～9月分（長期契約）	16,305	7～9月分（長期契約）	18,108
7月分（月別契約）	239	7月分（月別契約）	346
8月分（月別契約）	436	8月分（月別契約）	305
9月分（月別契約）	478	9月分（月別契約）	626
令和4年7～9月小計	17,458	令和3年7～9月小計	19,385
10～12月分（長期契約）	14,136	10～12月分（長期契約）	20,798
10月分（月別契約）	363	10月分（月別契約）	294
11月分（月別契約）	285	11月分（月別契約）	153
12月分（月別契約）	381	12月分（月別契約）	356
令和4年10～12月小計	15,165	令和3年10～12月小計	21,601
令和5年1～3月分（長期契約）		令和4年1～3月分（長期契約）	19,429
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	215
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	146
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	553
令和5年1～3月小計		令和4年1～3月小計	20,343
令和4年度うるち合計	48,218	令和3年度うるち合計	81,047

令和4年度(もち)		参考: 令和3年度(もち)	
令和4年4～7月分	2,223	令和3年4～7月分	2,291
8～11月分	2,435	8～11月分	2,154
令和4年12～令和5年3月分		令和3年12～令和4年3月分	2,320
令和4年度もち合計	4,658	令和3年度もち合計	6,765

（※）令和3年8～11月のもち見積合せ結果2,154トンのうち40トンは見積合せ後、契約辞退あり
資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 （令和4年9月30日）	一般米		40	207								247
	砕精米	200		200								400
	計	200	40	407								647
第2回 （令和4年10月21日）	一般米			316						206		522
	砕精米	300		200						400		900
	計	300		516						606		1,422
第3回 （令和4年11月16日）	一般米			567						494		1,061
	砕精米									200		200
	計			567						694		1,261
第4回 （令和4年12月14日）	一般米			620						232		852
	砕精米	308		200						200		708
	計	308		820						432		1,560
令和4年度計	一般米	0	40	1,710	0	0	0	0	0	932	0	2,682
	砕精米	808	0	600	0	0	0	0	0	800	0	2,208
	計	808	40	2,310	0	0	0	0	0	1,732	0	4,890
令和3年度計 （参考）	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 （参考）	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 （参考）	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 （参考）	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 （参考）	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和4年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和4年5月24日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和4年7月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第3回 （令和4年9月27日・28日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第4回 （令和4年11月29日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和4年度計	一般米	0	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	0	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

	合計			(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	204,104	71,551	275,654	101,576	174,078

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、4年産は計画数量。

注：2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注：3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン, ha)

	新規需要米															
	合計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)		
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982	
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108	
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535	
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763	
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790	
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614	
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080	
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375	
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402	
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30	
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-	
元年産	124,477	439,544	5,306	27,964	72,509	389,264	42,450	4,097	22,316	-	-	-	-	114	-	
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-	
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-	
4年産	206,203	846,500	8,403	44,605	142,055	761,429	48,404	7,248	40,466	-	-	-	-	92	-	

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和4年産）」

注1：平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2：令和4年産の面積・生産量は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

注3：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和4年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	275,654	204,104	71,551	846,500	761,429	40,466	44,605	207,000	1,329,155
北海道	37,491	25,703	11,788	46,350	38,180	7,657	513	2,162	86,003
青森	5,842	5,461	381	56,212	54,418	1,755	39	27,259	89,313
岩手	7,486	6,109	1,376	33,780	31,443	1,906	431	3,488	44,754
宮城	3,586	2,600	987	61,461	56,541	4,088	833	11,600	76,647
秋田	51,370	28,840	22,530	34,571	29,910	2,210	2,451	21,572	107,513
山形	28,272	25,056	3,216	34,390	31,408	2,262	720	21,291	83,953
福島	2,170	1,697	473	68,404	67,863	475	66	27,050	97,624
茨城	5,235	4,862	373	78,378	75,666	2,400	313	1,103	84,717
栃木	10,010	9,940	70	91,711	84,199	240	7,272	7,602	109,323
群馬	7,249	7,249		9,647	7,805	1	1,842	555	17,451
埼玉	836	833	3	22,942	18,461	226	4,255	463	24,240
千葉	8,040	3,311	4,729	60,177	59,379	68	730	3,985	72,202
東京									
神奈川				56	56				56
新潟	42,560	25,160	17,400	45,991	24,916	8,311	12,764	25,149	113,700
富山	6,325	4,840	1,486	15,190	11,785	2,034	1,371	12,197	33,712
石川	2,435	1,817	618	11,491	9,205	226	2,061	7,849	21,775
福井	1,435	1,016	419	12,520	10,767	738	1,014	4,076	18,031
山梨	374	374		254	105		149		628
長野	3,853	3,566	287	4,517	3,261	1,102	154	1,446	9,816
岐阜	2,331	2,326	5	17,936	17,568	90	278	435	20,702
静岡	415	415		6,169	6,134	4	32	20	6,605
愛知	2,292	2,115	176	12,949	12,349	337	263	846	16,087
三重	852	787	64	13,094	12,454	170	471	270	14,216
滋賀	3,548	3,134	414	12,166	10,770	1,107	289	1,342	17,056
京都	2,861	2,851	11	855	700	107	48		3,716
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,574	3,302	273	4,985	3,868	943	175		8,559
奈良	71	71	1	561	329		233		633
和歌山				17	14		4		17
鳥取	115	115		4,443	4,339	102	3	400	4,958
島根	1,542	1,442	100	4,532	4,491	12	28	130	6,204
岡山	1,690	1,572	118	12,130	10,588	874	668	977	14,797
広島	1,860	1,785	75	3,603	2,780	134	690	20	5,484
山口	5,053	4,998	55	6,099	5,568	337	194		11,152
徳島	97	95	2	5,014	4,771	190	53	1,182	6,294
香川	232	232		876	811	26	39		1,108
愛媛	142	142		1,490	1,460		30		1,631
高知	385	385		4,851	4,726	22	103	10	5,246
福岡	1,143	791	352	13,959	12,250	45	1,664	71	15,173
佐賀	2,164	222	1,942	4,473	4,260	30	184	220	6,857
長崎	35	35		637	587	23	27		672
熊本	3,543	1,939	1,605	10,716	8,719	100	1,896	247	14,506
大分	558	558		9,236	9,157		79	94	9,888
宮崎	9,571	9,571		3,542	3,348	111	83		13,113
鹿児島	6,954	6,731	223	4,063	3,985	7	71		11,018
沖縄	54	54		5	1		3		59

資料： 農林水産省「令和4年産加工用米の都道府県別の取組計画認定上位協（9月15日現在）」、「令和4年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況（9月15日現在）」、「令和4年産備蓄米の政府買入札の結果」
注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分21,889トンを含んでいる。
注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、㎏)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	対前年 同期比
	(1~10月)								
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	404,707	409,034	355,486	105%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	27,245	27,885	27,031	120%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	197,185	206,179	176,741	103%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	171,307	166,099	144,357	106%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,894	3,624	2,686	91%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	422	422	398	130%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,654	4,825	4,273	109%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	219,437	214,587	173,458	97%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	93,506	93,836	76,057	98%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	125,931	120,751	97,401	97%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	474,700	462,083	378,488	101%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	404,717	394,187	322,984	102%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	28,805	28,687	25,584	111%
(麦みそ)	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	16,466	15,653	10,916	84%
(豆みそ)	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	24,712	23,556	19,004	100%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	91,076	84,964	75,459	108%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	40,559	35,918	35,388	120%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	8,280	8,812	7,796	107%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,851	4,062	3,374	100%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,485	1,492	1,233	99%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	1,013	993	891	110%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,114	1,016	894	102%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,528	2,183	1,517	87%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	31,246	30,488	24,366	97%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	66,181	65,570	46,189	96%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	418,507	404,299	278,891	96%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	142,121	138,084	101,913	107%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	19,682	19,464	13,203	103%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	40,362	41,611	32,788	113%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	54,729	52,669	39,232	104%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	27,349	24,339	16,690	105%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	276,386	266,215	176,978	90%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	411,894	389,556	300,649	99%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	176,801	164,223	131,148	103%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	31,507	29,550	23,826	104%
(麦焼酎)	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	168,352	162,420	129,576	101%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和4年は概算値。また、令和4年については、兵庫県のデータが9月以降未集計となっている。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和2米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲3万トンの約92万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約72万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約76%。残りの約24%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に加工用米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	6					10
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	2		1	1		4
合計	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約10万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号）であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位:万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
味噌用	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
米穀粉用	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
その他用	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
合計	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

(単位:万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
米菓用	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
その他用	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
合計	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19

注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゆう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により国内の日本酒出荷量が大幅に減少。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	
													(1~10月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	279	96%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	102	107%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	13	103%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	33	113%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	39	104%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	17	105%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	177	90%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和4年は概算値。また、令和4年については、兵庫県のデータが9月以降未集計となっている。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

注2：国内出荷量には輸出货量は含まれていない。

日本酒の輸出货量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	
													(1~10月)	対前年同期比
日本酒輸出货量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	30.3	118%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	8.1	113%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	6.2	108%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2.3	87%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2.4	119%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	3.2	177%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	8.0	129%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降は、特定名称酒も減少に転じたこと等から、令和2年産で約18万トン（対前年比▲12%）にまで減少。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	対前年比 2/元年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206	180	88%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83	70	84%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85	63	74%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38	47	125%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成27年産は、作付面積の増加や作柄が良かったこと等から大幅に増加したため供給過剰となり、その後は、需要減少も伴って生産抑制が行われている。
- さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、国内の日本酒出荷量が急減しており、供給過剰が見込まれる状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	2年産	3年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,454	85,179	74,616	87.6%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,644	28,342	27,400	96.7%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	17,561	13,729	78.2%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,710	3,816	66.8%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,987	2,289	115.2%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	32,636	31,578	27,383	86.7%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和3年産は、令和4年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したものの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和4年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和4年産が76～77千トン程度、令和5年産が78～79千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	2年産		3年産		4年産		5年産	
			対2年産比		対2年産比		対2年産比	
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	58,293	55,580	95.3%	63,577	109.1%	65,312	112.0%	
山田錦	23,915	22,886	95.7%	27,084	113.3%	27,738	116.0%	
五百万石	11,379	10,822	95.1%	12,329	108.4%	12,526	110.1%	
美山錦	3,516	3,260	92.7%	3,449	98.1%	3,588	102.0%	
雄町	1,136	1,266	111.5%	1,348	118.7%	1,367	120.3%	
その他	18,347	17,346	94.5%	19,367	105.6%	20,093	109.5%	
酒造好適米の全体需要量(推計)	69～71千トン		66～68千トン		76～77千トン		78～79千トン	

資料：「令和4年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和4年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

2：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和4年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約82～84%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

<p>1 米の需給 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和4年10月20日))</p>	<p>需給-1</p>
<p>2 米の在庫情報 令和2・3年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)</p>	<p>在庫-1 Excel</p>
<p>3 米の価格情報 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和3年産) 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス) 3 米の現物市場の状況</p>	<p>価格-1 Excel 価格-4 価格-5</p>
<p>4 米の契約・販売情報 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26年産～令和3年産) 2 令和3年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報) 3 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果(令和4年産) 4 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和4年産)</p>	<p>契約-1 Excel 契約-5 Excel 契約-11 契約-12</p>
<p>5 支援事業等 (1) 水田活用の直接支払交付金 (2) コメ新市場開拓等促進事業 (3) 畑作物産地形成促進事業 (4) 畑地化促進事業 (5) 小麦・大豆の国産化の推進 (6) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策) (7) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策) (8) 収入保険 (9) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 (10) コロナ影響緩和特別対策 (11) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト</p>	<p>支援-1 支援-3 支援-4 支援-5 支援-6 支援-7 支援-10 支援-13 支援-15 支援-17 支援-18</p>
<p>6 その他 (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 (2) 国産飼料用米の使用可能数量 (3) 麦・大豆の需要情報 ① 令和4年産麦の産地別銘柄別入札結果 ② 令和4年産大豆の産地品種銘柄別入札結果 (4) 野菜等の需給情報 (5) 令和4年産水稻の収穫量 (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移 (7) 各道府県農業再生協議会等が作成した令和5年産主食用米の生産の目安等</p>	<p>その他-1 その他-2 その他-5 その他-7 その他-11 その他-15 その他-21 その他-23</p>

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。







Android



iOS